

令和4年度  
郡山市セーフコミュニティ  
地域診断

<2022年9月版>

**Safe Community**

みんなで作る安全・安心なまち



セーフコミュニティ郡山

## 地域診断データ一覧

- 1 福島県警察本部・郡山警察署・郡山北警察署  
「交通白書」
- 2 郡山警察署・郡山北警察署  
「地域安全白書」
- 3 警察庁  
「警察白書」
- 4 厚生労働省・郡山市保健所  
「人口動態統計」
- 5 総務省消防庁  
「消防白書」
- 6 福島県消防保安課  
「消防防災年報」
- 7 郡山地方広域消防組合  
「救急搬送データ（国表）」「救急搬送データ」「消防年報こおりやま」  
※救急搬送データ（国表）は郡山市内の居住者のみ、  
救急搬送データは郡山市外の居住者で郡山市内で救急搬送された者を含む。
- 8 郡山市子ども家庭支援課子ども家庭相談センター  
「相談等の取扱件数推移」
- 9 厚生労働省  
「児童相談所における児童虐待相談対応件数」
- 10 内閣府男女共同参画局  
「配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数等」
- 11 厚生労働省労働基準局・福島労働局・郡山労働基準監督署  
「労働災害発生状況」  
※郡山労働基準監督署管内で田村市、田村郡、本宮市、大玉村を含む。
- 12 郡山市市民部セーフコミュニティ課  
「郡山市セーフコミュニティ市民意識調査」
- 13 総務省統計局  
「人口推計」の各年4月1日現在 ※国、県、市の人口10万人あたりの推移の算出に使用  
「国勢調査」 ※各年齢ごとの算出に使用
- 14 福島県統計課  
「福島県現住人口調査月報」の各年4月1日現在  
※国、県、市の人口10万人あたりの推移の算出に使用
- 15 郡山市政策開発課  
「郡山市の現住人口」の各年4月1日現在 ※国、県、市の人口10万人あたりの推移の算出に使用  
「郡山市住民基本台帳人口」の各年1月1日現在 ※各年齢ごとの算出に使用



# 目 次

分野1	交通安全	……	5
(1)	交通事故の発生状況推移		
(2)	交通事故による死傷者数推移		
(3)	交通事故を要因とした救急搬送者推移		
(4)	救急搬送要因のうち交通事故が占める割合(郡山市)		
(5)	交通事故を要因とした救急搬送の年齢層別割合(郡山市)		
(6)	交通事故を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数(郡山市)		
(7)	交通事故を要因とした救急搬送発生場所(郡山市)		
(8)	自転車乗車中の死傷者数推移		
(9)	県内の自転車乗車中事故の死傷者数で郡山市が占める割合		
分野2	こどもの安全	……	11
(1)	全国・市の交通事故及び一般負傷を要因に救急搬送された新生児～乳幼児の推移		
(2)	全国・市の交通事故及び一般負傷を要因に救急搬送された少年の推移		
(3)	救急搬送されたこどものけがや事故の種別(郡山市)		
(4)	こどもの救急搬送場所(郡山市)		
(5)	住宅から救急搬送されたこどものけがや事故種別(郡山市)		
(6)	住宅から一般負傷を要因に救急搬送されたこどものけがや事故の小分類場所(郡山市)		
(7)	児童虐待の相談件数推移		
(8)	児童虐待種別の各年の割合		
(9)	児童虐待種別ごとの推移(郡山市)		
分野3	高齢者の安全	……	16
(1)	全国・市の交通事故及び一般負傷を要因に救急搬送された高齢者の推移		
(2)	救急搬送された高齢者のけがや事故の種別(郡山市)		
(3)	高齢者のけがや事故による救急搬送発生場所(郡山市)		
(4)	住宅から一般負傷を要因に救急搬送された高齢者の男女別発生場所小分類(郡山市)		
(5)	一般負傷を要因とした救急搬送の年齢別重症度率(郡山市)		
(6)	傷病及びその他の外因による年代別死亡者数(郡山市)		
(7)	高齢者のけがや事故による種別ごとの死亡者数(郡山市)		
(8)	窒息による年代別死亡者数の割合(郡山市)		
(9)	高齢者の権利擁護における相談件数推移(郡山市)		

#### 分野4 自殺予防

…… 21

- (1) 傷病及びその他外因ごとの死亡者数推移 (郡山市)
- (2) 自殺者数推移
- (3) 年齢層別・男女別自殺者数 (郡山市)
- (4) 自損行為を要因とした救急搬送者数推移
- (5) 自損行為を要因とした年齢階層別救急搬送者数推移 (郡山市)
- (6) 自損行為を要因に救急搬送された男女別の割合の推移 (郡山市)
- (7) 自損行為を要因に救急搬送された年齢層別割合 (郡山市)
- (8) 自損行為を要因に救急搬送された性別年齢層別割合 (郡山市)
- (9) 自損行為を要因に救急搬送された月別人数 (郡山市)
- (10) 自損行為の救急搬送発生場所 (郡山市)
- (11) 自損行為の住宅内での救急搬送発生場所 (郡山市)
- (12) 自損行為を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数 (郡山市)

#### 分野5 防犯

…… 29

- (1) 刑法犯認知件数の推移
- (2) 凶悪及び粗暴犯認知件数合計の推移
- (3) 加害を要因とした救急搬送推移
- (4) 加害を要因とした救急搬送の年齢階層別構成 (郡山市)
- (5) 加害を要因とした救急搬送の男女別構成 (郡山市)
- (6) 加害を要因とした男女別の救急搬送場所 (郡山市)
- (7) 加害を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数 (郡山市)
- (8) 配偶者によるDV相談件数の推移 (郡山市)

#### 分野6 防災・環境安全

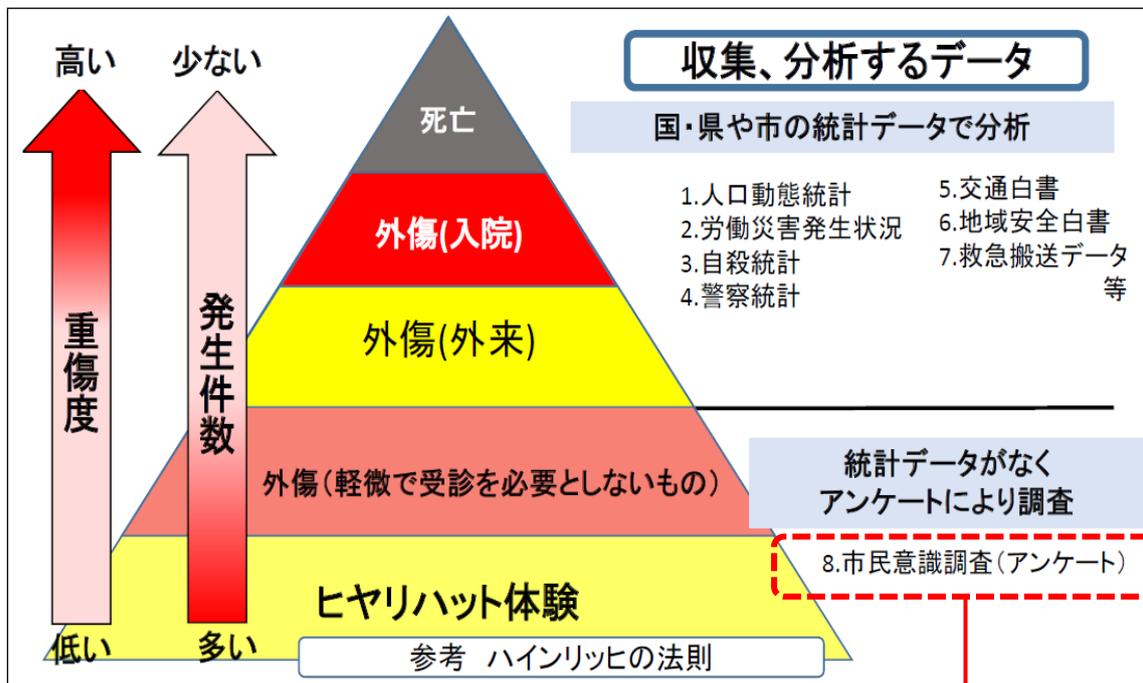
…… 34

- (1) 火災を要因とした救急搬送者数推移
- (2) 出火件数と死傷者数の推移 (郡山市)
- (3) 地域ごとの出火件数と死傷者数 (郡山市)
- (4) 出火発生場所 (郡山市)
- (5) 火災発生原因 (郡山市)
- (6) 月別火災発生件数 (郡山市)
- (7) 火災を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数 (郡山市)
- (8) 労働災害による死傷者数推移
- (9) 労働災害を要因とした救急搬送者数推移
- (10) 労働災害を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数 (郡山市)
- (11) 労働災害による時間帯・曜日・月別死傷者数 (郡山市)
- (12) 男女別労働災害による死傷者数 (郡山市)
- (13) 休業見込み期間別労働災害による死傷者数 (郡山市)
- (14) 年代別労働災害による死傷者数 (郡山市)
- (15) 経験年数別労働災害による死傷者数 (郡山市)
- (16) 労働者数別労働災害による死傷者数 (郡山市)
- (17) 事故の型別労働災害による死傷者数 (郡山市)
- (18) 起因物別労働災害による死傷者数 (郡山市)
- (19) 業種別労働災害発生状況 (郡山市)

(別冊) 令和4年度第5回郡山市セーフコミュニティ市民意識調査

## 地域診断について

地域診断は、郡山市におけるけがや事故の状況を明らかにするため隔年で実施しています。第5回目となる今回は、これまでに収集した統計データを引き続き更新し、新たに6分野の対策委員会(交通安全、子どもの安全、高齢者の安全、自殺予防、防犯、防災・環境安全)から提示された必要なデータのアンケート調査結果等を追加します。また、地区・地域ごとの更なるセーフコミュニティ活動の推進に役立つデータ集とするため、地区・地域ごとのデータも追加します。



### 1 調査の概要

- (1) 調査地域：郡山市全域
- (2) 調査対象：郡山市内に在住する満18歳（令和4年6月1日時点）以上の者
- (3) 標本数：4,000人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳からの年代、地域を考慮した無作為抽出
- (5) 調査方法：郵送による調査票の配布・回収、インターネットでの回答
- (6) 調査期間：令和4年6月17日(金)～7月15日(金)
- (7) その他：これまで世帯票4,000、各世帯最大3人までとし個人票8,400を送付していたが、今回から同一世帯への重複した抽出を除き、世帯票と個人票の内容を統一して個人票のみで調査を実施した。

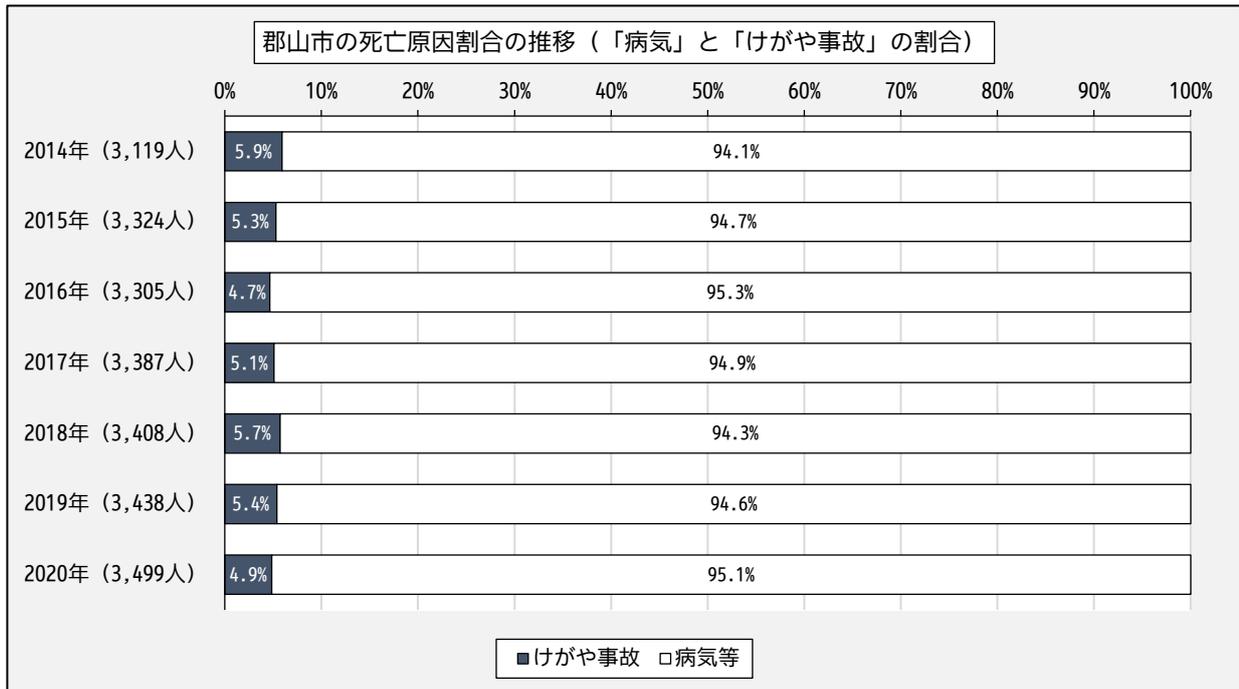
### 2 アンケート回収数

1,680件（回収率42%）

## 郡山市の死亡要因のうちけがや事故が占める割合

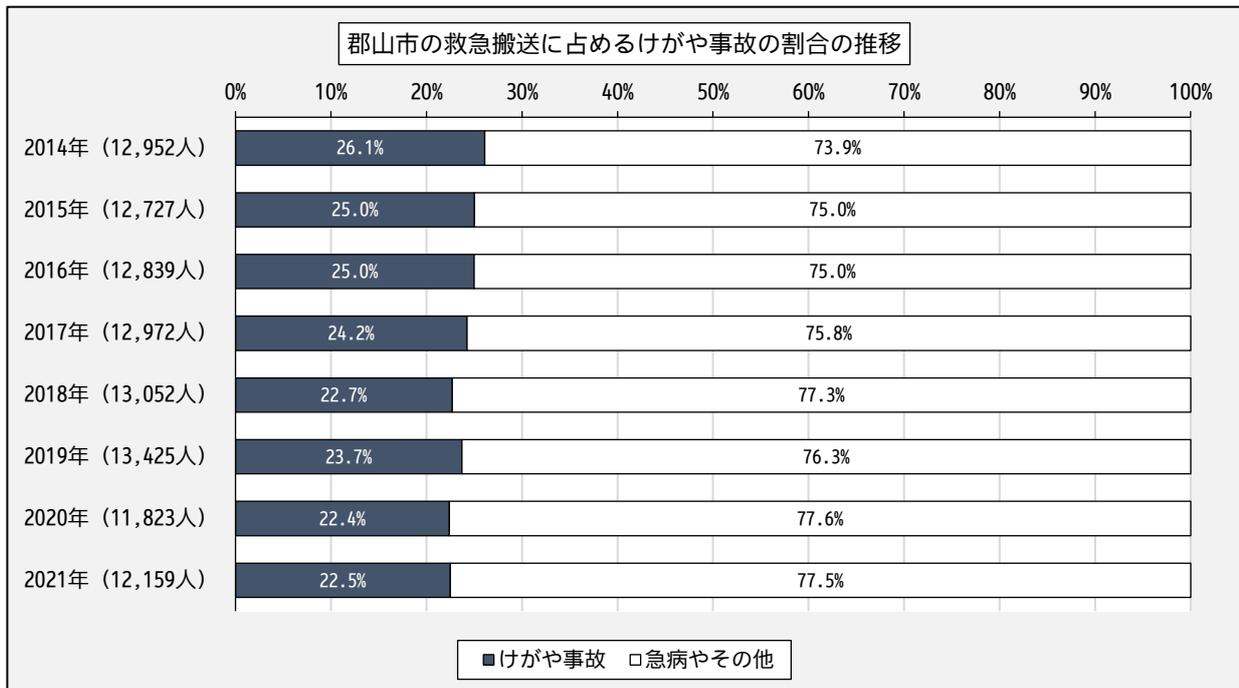
セーフコミュニティは、「けがや事故」を予防することを目的としている。

人口動態統計によると、9割以上が病気による死亡である。  
けがや事故が要因で亡くなる方の割合は、横ばい傾向となっている。



郡山市保健所「人口動態統計」より

救急搬送データの場合は、7割以上が急病やその他である。  
けがや事故による救急搬送は、毎年25%程度となっているが、減少傾向にある。



郡山地方広域消防組合「救急搬送データ（国表）」より

# 郡山市の人口

※住民基本台帳に基づく人口

## 2020年1月1日現在

年齢	男	女	合計	構成率	構成率10歳毎		構成率現役世代等	
0-4	6,452	6,278	12,730	3.9%	0-9	8.1%	未成年 0-19	17.4%
5-9	6,979	6,420	13,399	4.1%				
10-14	7,257	6,922	14,179	4.4%				
15-19	8,093	7,807	15,900	4.9%	10-19	9.3%	現役 世代 20-64	56.5%
20-24	8,404	7,807	16,211	5.0%	20-29	10.2%		
25-29	8,780	8,034	16,814	5.2%				
30-34	9,670	8,912	18,582	5.8%	30-39	12.1%		
35-39	10,542	9,829	20,371	6.3%				
40-44	11,568	11,177	22,745	7.0%	40-49	14.5%		
45-49	12,348	11,706	24,054	7.4%				
50-54	10,526	10,436	20,962	6.5%	50-59	13.1%	高齢① 65-74	13.4%
55-59	10,567	10,631	21,198	6.6%	60-69	13.8%		
60-64	10,663	10,970	21,633	6.7%			90-∞	1.7%
65-69	11,240	11,779	23,019	7.1%				
70-74	9,686	10,518	20,204	6.3%	80-89	6.2%	年金 受給 世代 65-∞	26.1%
75-79	7,069	8,532	15,601	4.8%				
80-84	4,612	7,054	11,666	3.6%	90-∞	1.7%	合計	100.0%
85-89	2,787	5,565	8,352	2.6%				
90-94	1,083	3,068	4,151	1.3%	合計	100.0%	合計	100.0%
95-99	206	863	1,069	0.3%				
100-104	18	132	150	0.0%	合計	100.0%	合計	100.0%
105-109	0	6	6	0.0%				
110-114	0	0	0	0.0%	合計	100.0%	合計	100.0%
合計	158,550	164,446	322,996	100.0%				

## 2022年1月1日現在

年齢	男	女	合計	構成率	構成率10歳毎		構成率現役世代等	
0-4	6,061	5,833	11,894	3.7%	0-9	7.9%	未成年 0-19	17.0%
5-9	6,870	6,532	13,402	4.2%				
10-14	7,150	6,772	13,922	4.4%				
15-19	7,850	7,315	15,165	4.7%	10-19	9.1%	現役 世代 20-64	55.9%
20-24	8,088	7,470	15,558	4.9%	20-29	9.9%		
25-29	8,409	7,651	16,060	5.0%				
30-34	9,192	8,646	17,838	5.6%	30-39	11.8%		
35-39	10,271	9,494	19,765	6.2%				
40-44	10,943	10,663	21,606	6.8%	40-49	14.3%		
45-49	12,412	11,699	24,111	7.5%				
50-54	11,234	11,058	22,292	7.0%	50-59	13.3%	高齢① 65-74	14.2%
55-59	10,064	10,177	20,241	6.3%	60-69	13.5%		
60-64	10,491	10,759	21,250	6.6%			90-∞	1.8%
65-69	10,660	11,134	21,794	6.8%				
70-74	11,317	12,369	23,686	7.4%	80-89	6.5%	年金 受給 世代 65-∞	27.1%
75-79	6,613	7,911	14,524	4.5%				
80-84	4,882	7,129	12,011	3.8%	90-∞	1.8%	合計	100.0%
85-89	2,921	5,772	8,693	2.7%				
90-94	1,204	3,231	4,435	1.4%	合計	100.0%	合計	100.0%
95-99	250	1,027	1,277	0.4%				
100-104	17	150	167	0.1%	合計	100.0%	合計	100.0%
105-109	1	10	11	0.0%				
110-114	0	0	0	0.0%	合計	100.0%	合計	100.0%
合計	156,900	162,802	319,702	100.0%				

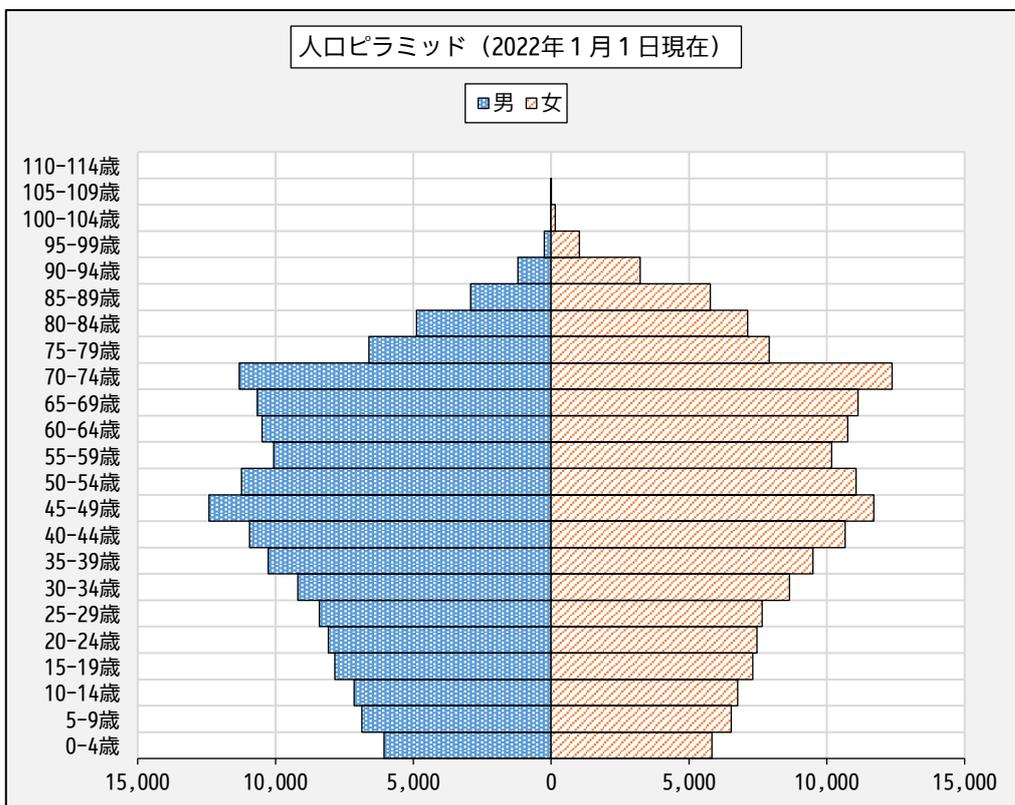
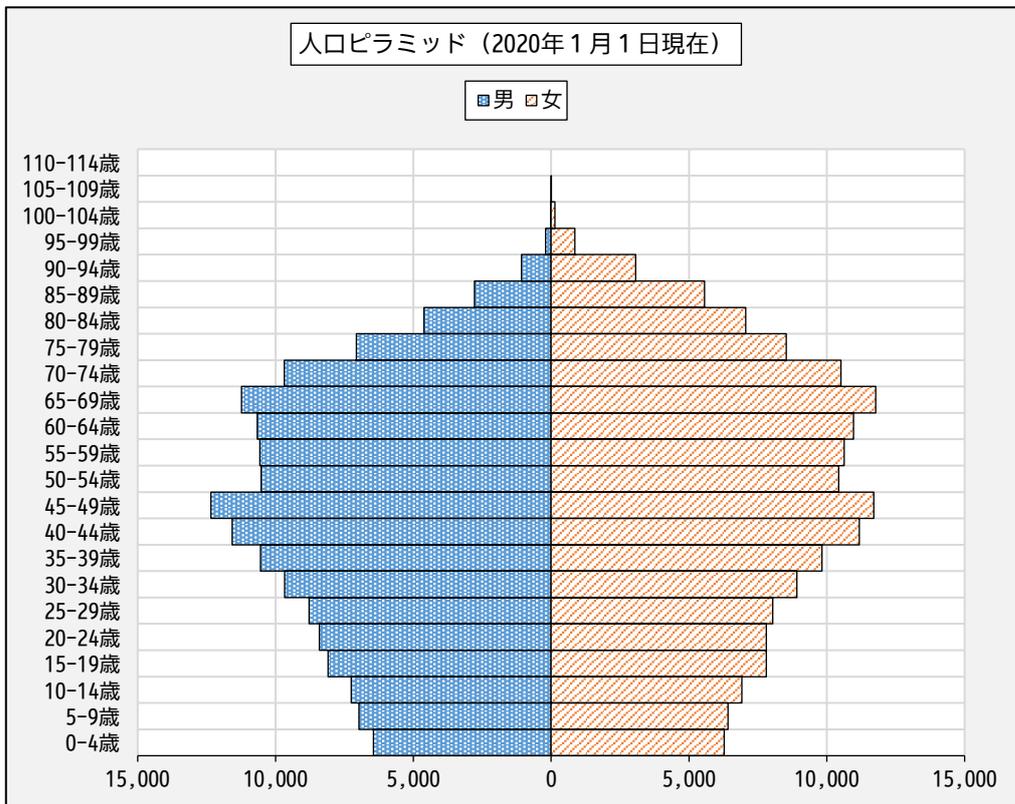
# 郡山市の人口構成について

2020年1月1日と2022年1月1日の人口構成比を比較する。

- ・未成年（0-19歳）は、17.4%から17.0%と0.4ポイント減少。
- ・現役世代（20-64歳）は、56.5%から55.9%と0.6ポイント減少。
- ・65歳以上は、26.1%から27.1%と1.0ポイント増加。

若い世代の人口が減少し、高齢者の人口が増加している。

高齢者（65歳以上）の人口は、27.1%と全人口の4分の1以上を占めている。

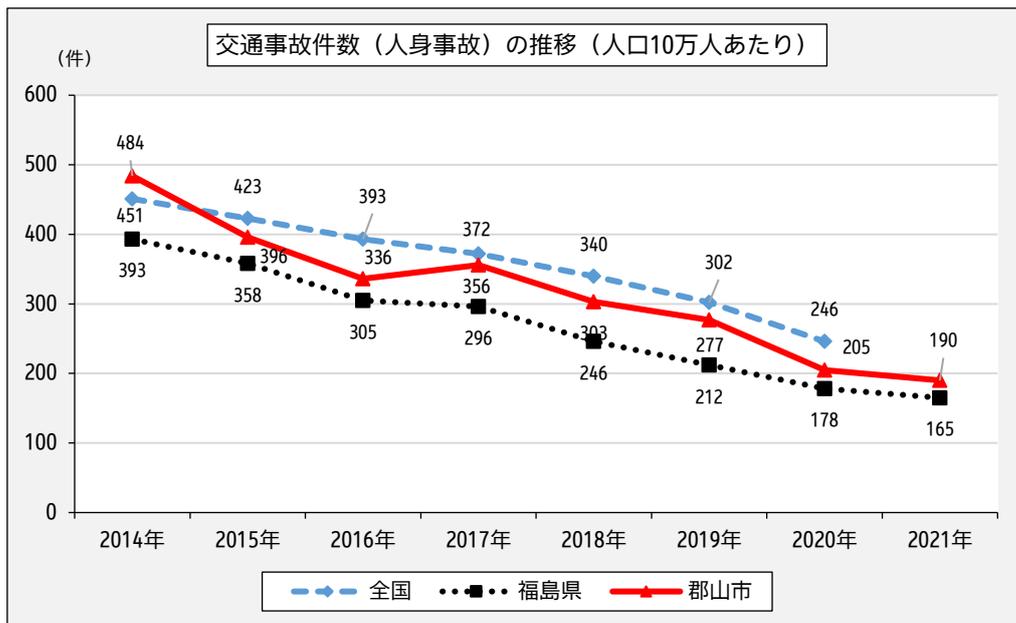


## 分野1 交通安全

### (1) 交通事故の発生状況推移（人口10万人あたり）

全体的に減少傾向が続いている。

郡山市は、2015年以降全国より下回っているが、県を上回った状態が続いている。

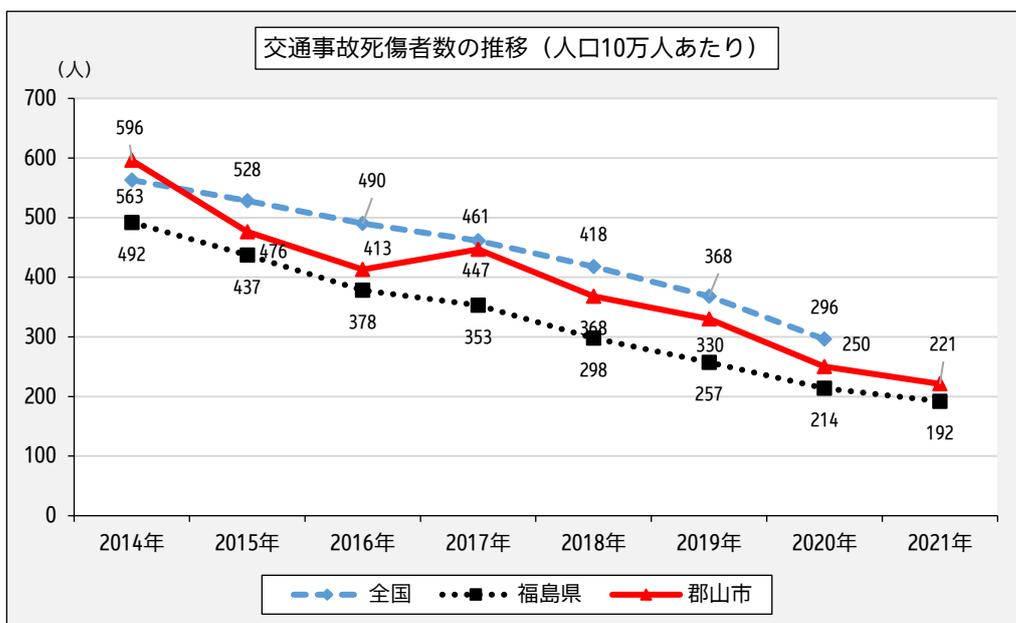


警察庁「警察白書」、福島県警察本部「交通白書」より

### (2) 交通事故による死傷者数推移（人口10万人あたり）

全体的に減少傾向が続いている。

郡山市は、2015年以降全国より下回っているが、県を上回った状態が続いている。

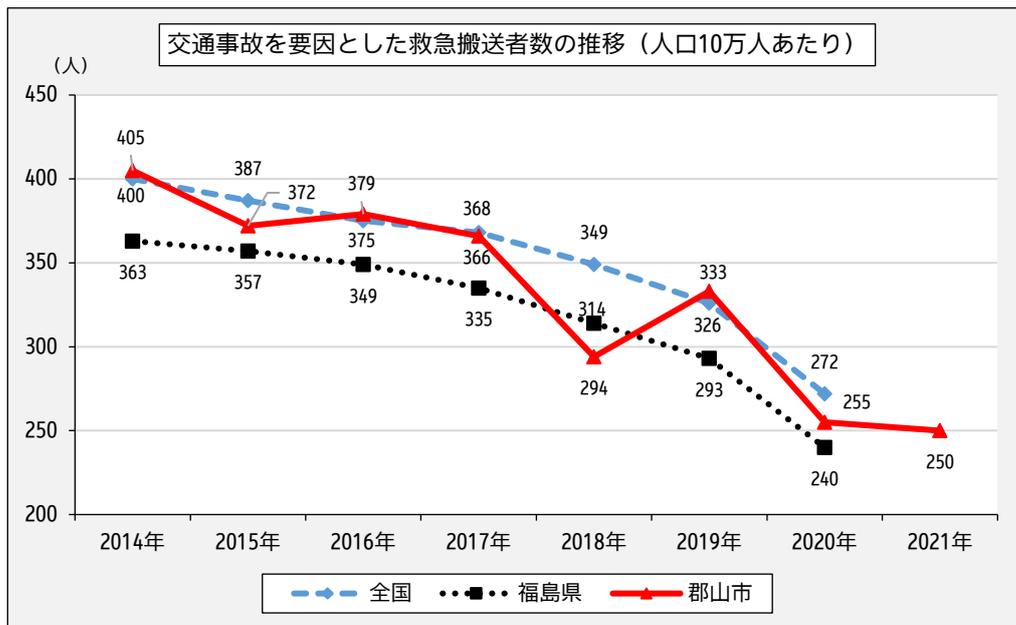


警察庁「警察白書」、福島県警察本部「交通白書」より

## 分野1 交通安全

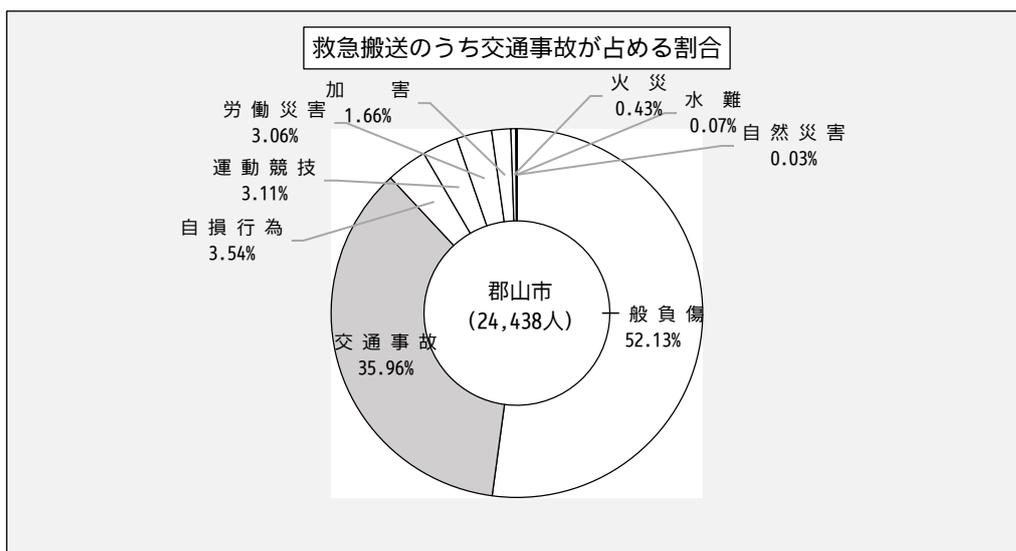
### (3) 交通事故を要因とした救急搬送者数推移（人口10万人あたり）

郡山市は2018年まで減少傾向にあったが、2019年に増加し、全国と県を上回っている。2020年からは再び減少した。



### (4) 救急搬送要因のうち交通事故が占める割合（郡山市）（2014～2021年累計）

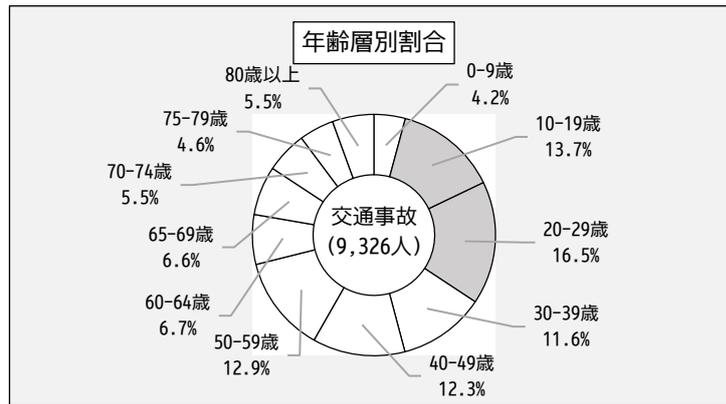
「交通事故」の36.0%は、「一般負傷」の52.1%に次ぐ割合を占めている。この2つで、病気以外の救急搬送のおよそ9割を占めている。



## 分野1 交通安全

### (5) 交通事故を要因とした救急搬送の年齢層別割合（郡山市）（2014～2021年累計）

下記表を見ると、「10-19歳」「20-29歳」が人口割合に比べ、交通事故を要因とした救急搬送率が高い。



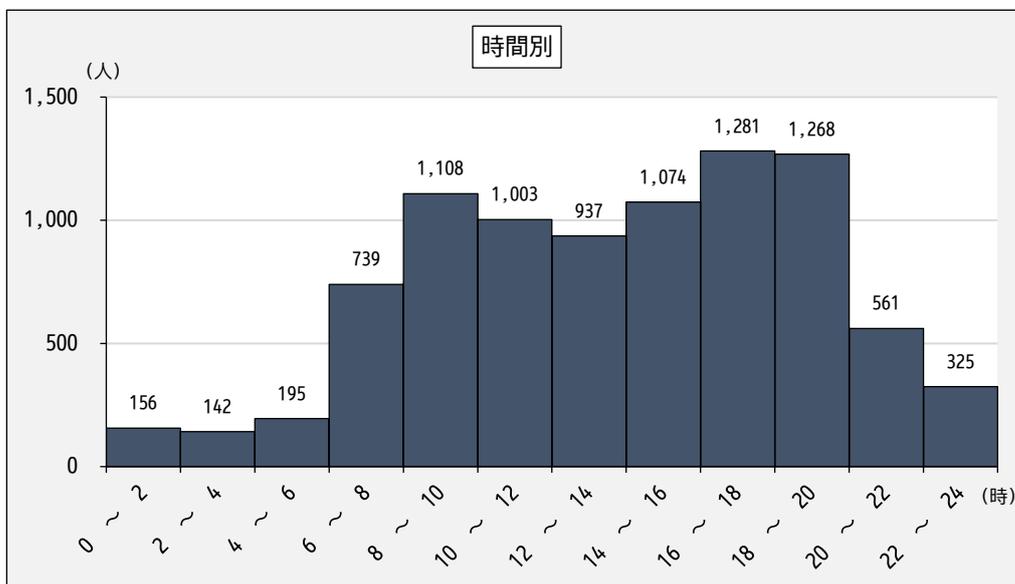
郡山地方広域消防組合「救急搬送データ」より

年齢層	人口割合(%)…①	事故発生率(%)…②	①-②(%)
0-9歳	7.9	4.2	3.7
10-19歳	9.1	13.7	-4.6
20-29歳	9.9	16.5	-6.6
30-39歳	11.8	11.6	0.2
40-49歳	14.3	12.3	2
50-59歳	13.3	12.9	0.4
60-69歳	13.5	13.3	0.2
70-79歳	12.0	10.1	1.9
80歳以上	8.3	5.5	2.8

### (6) 交通事故を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数（郡山市）（2014～2021年累計）

#### ア 時間別

朝方（8～10時）と夕方（16～20時）の通勤時間帯が多い。

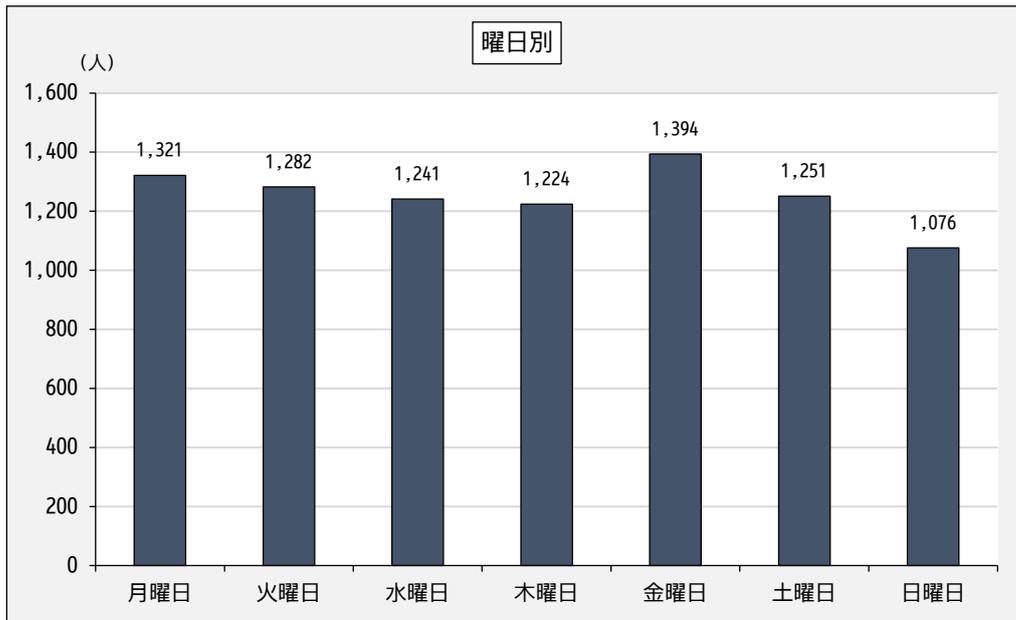


郡山地方広域消防組合「救急搬送データ（国表）」より

## 分野1 交通安全

### イ 曜日別

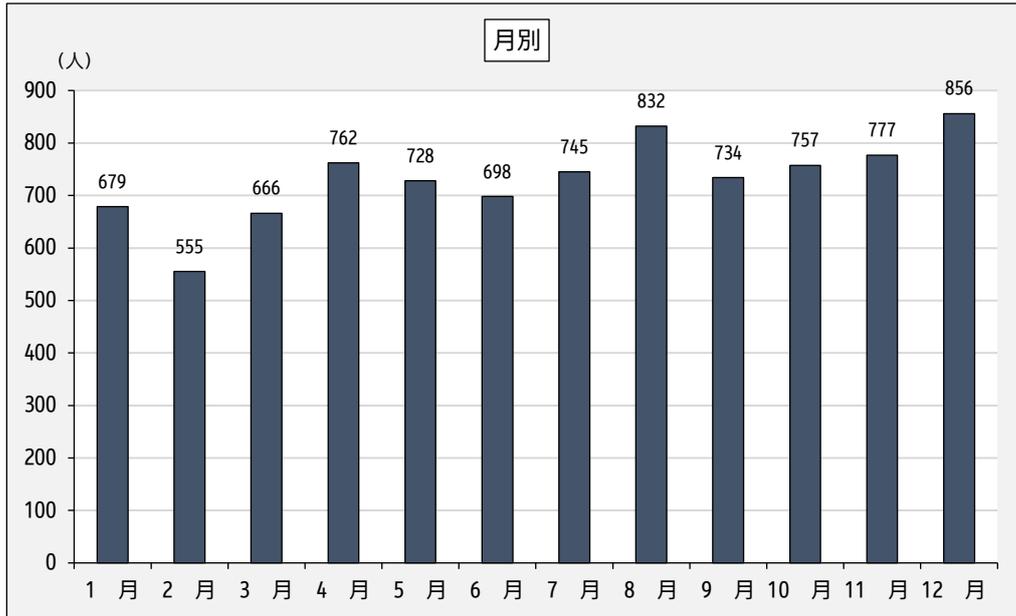
曜日別では、「金曜日」が1,394人で一番多く、「日曜日」が1,076人で一番少ない。



郡山地方広域消防組合「救急搬送データ(国表)」より

### ウ 月別

月別では、「2月」が555人で一番少なく徐々に増加していく。



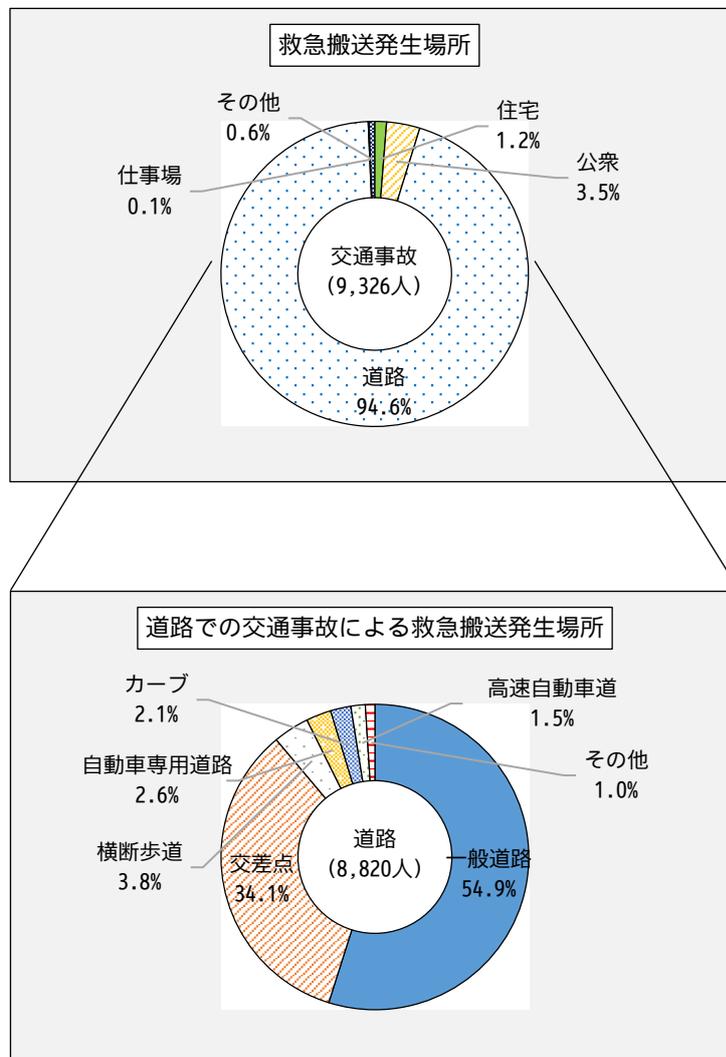
郡山地方広域消防組合「救急搬送データ(国表)」より

## 分野1 交通安全

### (7) 交通事故を要因とした救急搬送発生場所（郡山市）（2014～2021年累計）

救急搬送発生場所は、「道路」が94.6%である。

「道路」の詳細を見ると「一般道路」が54.9%で一番多く、次いで「交差点」が34.1%、「横断歩道」が3.8%である。

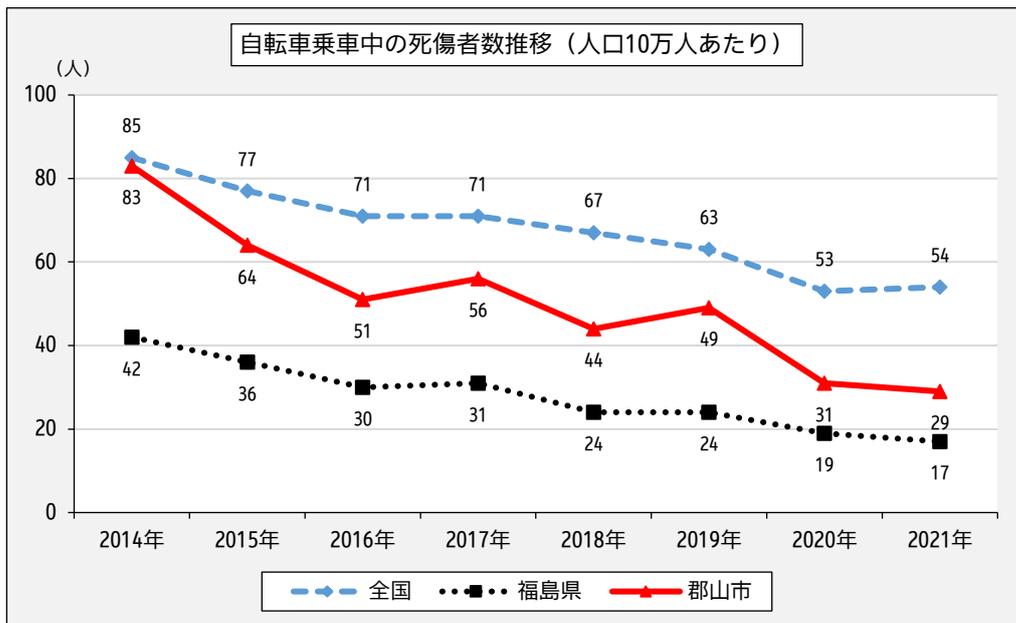


郡山地方広域消防組合「救急搬送データ」より

## 分野1 交通安全

### (8) 自転車乗車中の死傷者数推移（人口10万人あたり）

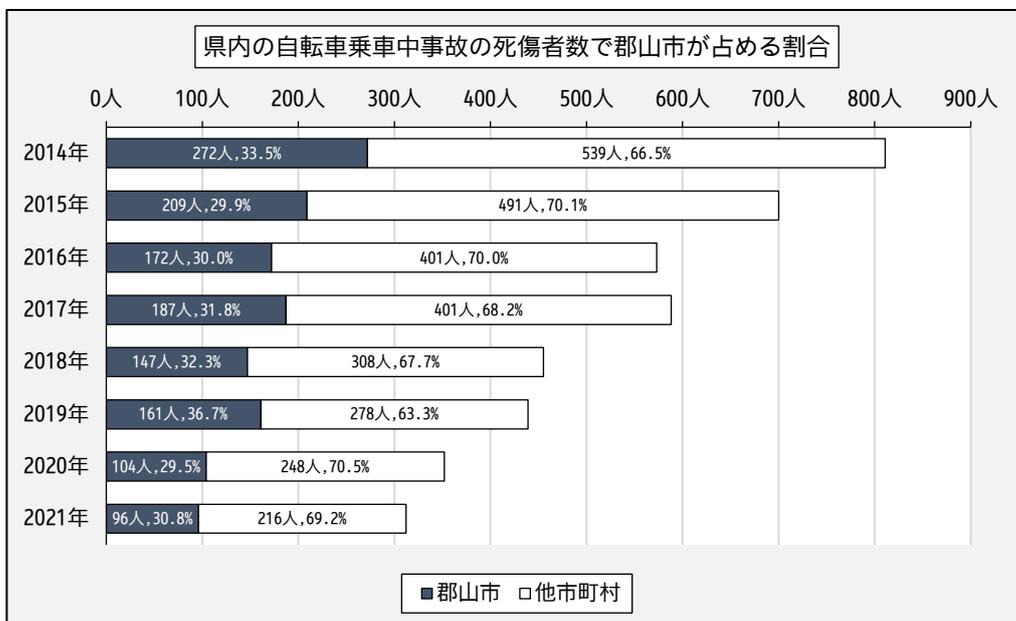
全体的に減少傾向が続いている。  
全国を下回っているが、県を上回った状態が続いている。



警察庁「警察白書」、福島県警察本部・郡山警察署・郡山北警察署「交通白書」より

### (9) 県内の自転車乗車中事故の死傷者数で郡山市が占める割合

郡山市は、各年で全体の約30%を占めている。  
2021年4月1日時点の県内における福島県の現住人口は1,818,818人、郡山市の現住人口は326,402人であり、県内における郡山市の人口割合は17.9%である。  
2021年は、人口割合と比べ郡山市の自転車乗車中事故の割合は約1.7倍多い。



福島県警察本部「交通白書」、郡山警察署・郡山北警察署からの情報提供より

## 分野2 こどもの安全

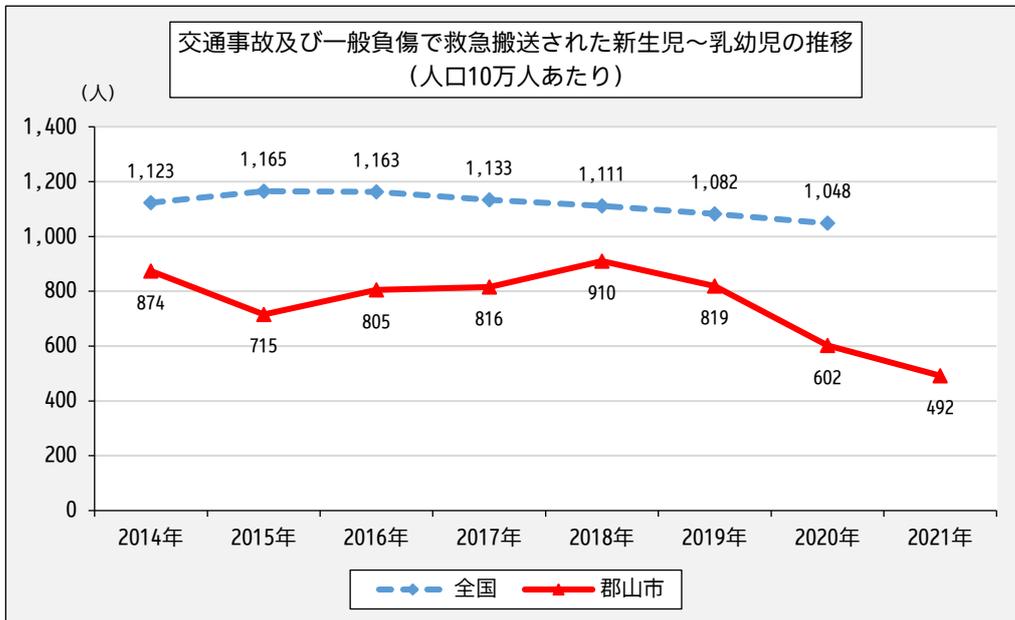
<年齢区分>

新生児～乳幼児…0歳から6歳まで 少年…7歳から17歳まで

全国の人口は国勢調査の年齢別人口（2014年…2010年実施、2015～2019年…2015年実施、2020～2021年…2020年実施）、郡山市の人口は各年1月1日現在の住民基本台帳に基づく人口から算出。

### (1) 全国・市の交通事故及び一般負傷を要因に救急搬送された新生児～乳幼児の推移（人口10万人あたり）

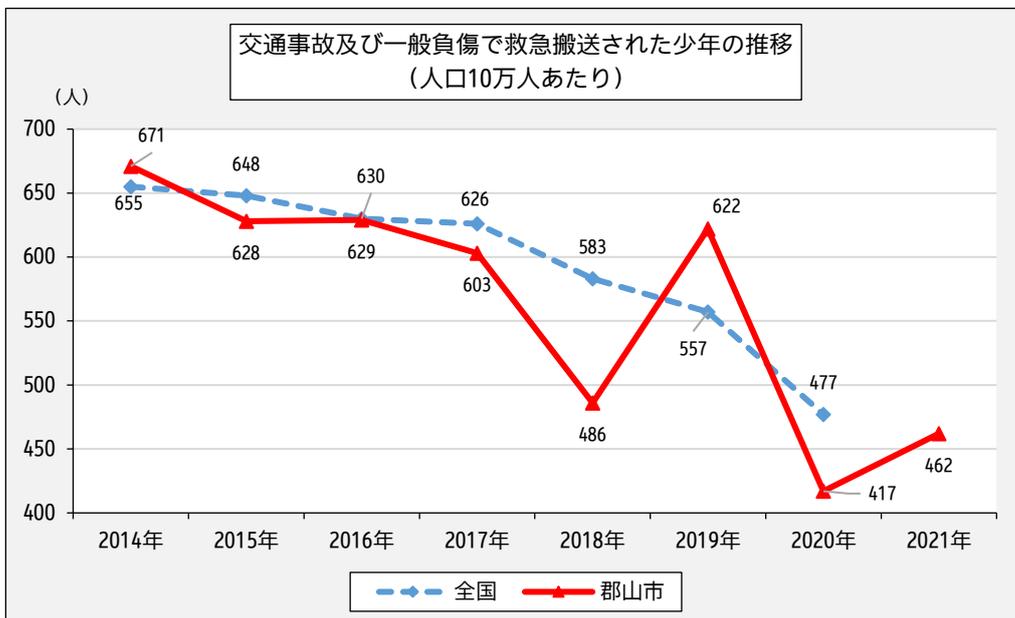
郡山市は増加や減少を繰り返す状況が続いているが、全国を下回っている。



総務省消防庁「消防白書」、郡山地方広域消防組合「救急搬送データ（国表）」より

### (2) 全国・市の交通事故及び一般負傷を要因に救急搬送された少年の推移（人口10万人あたり）

郡山市は、2019年に全国を上回ったが、減少傾向にある。



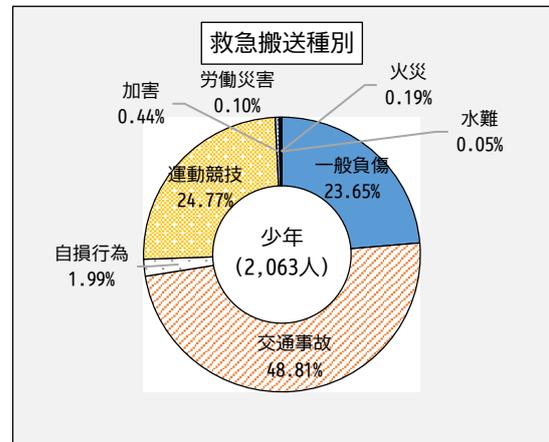
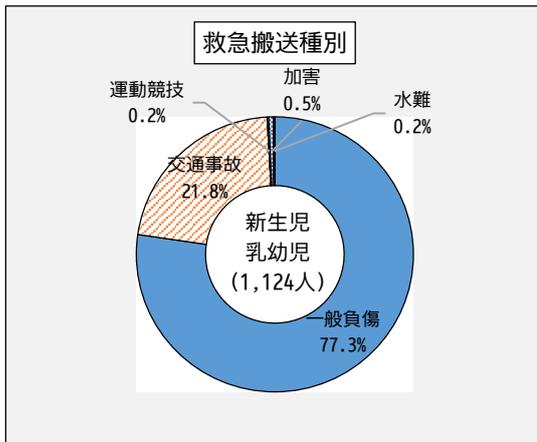
総務省消防庁「消防白書」、郡山地方広域消防組合「救急搬送データ（国表）」より

## 分野2 こどもの安全

### (3) 救急搬送されたこどものけがや事故の種別（郡山市）（2014～2021年累計）

新生児～乳幼児は、「一般負傷」が一番多く、7割以上を占める。

少年は、「交通事故」が48.8%で一番多く、次いで「運動競技」が24.8%、「一般負傷」が23.7%となっている。

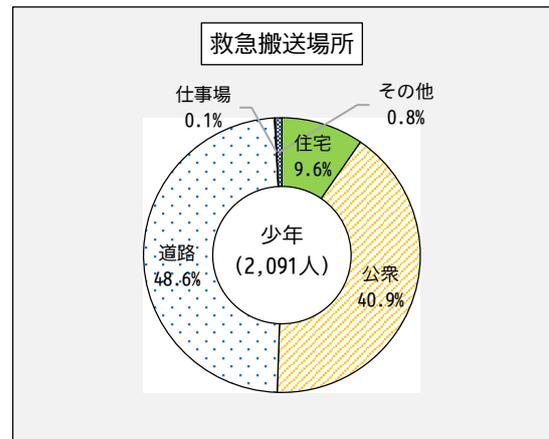
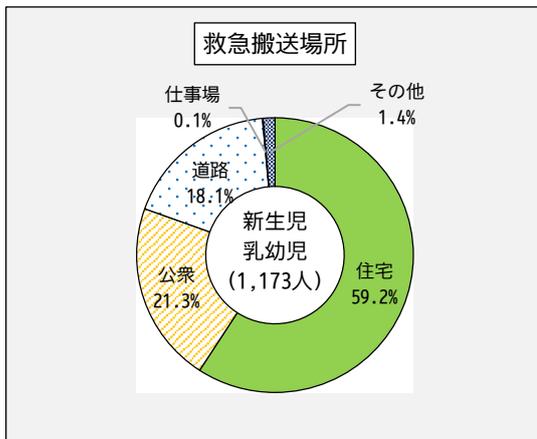


郡山地方広域消防組合「救急搬送データ（国表）」より

### (4) こどもの救急搬送場所（郡山市）（2014～2021年累計）

新生児～乳幼児は、「住宅」が59.2%で一番多く、次いで「公衆」が21.3%、「道路」が18.1%である。

少年は、「道路」が48.6%で一番多く、次いで「公衆」が40.9%、「住宅」が9.6%となっている。

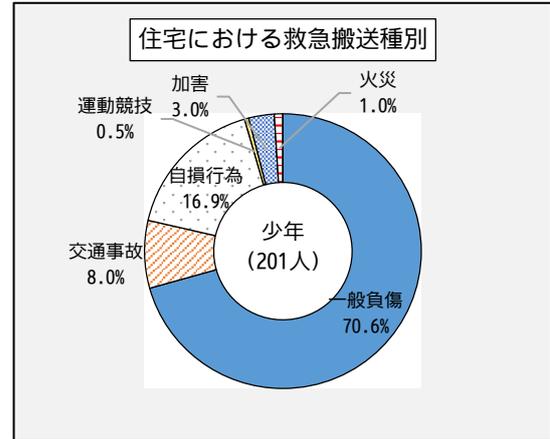
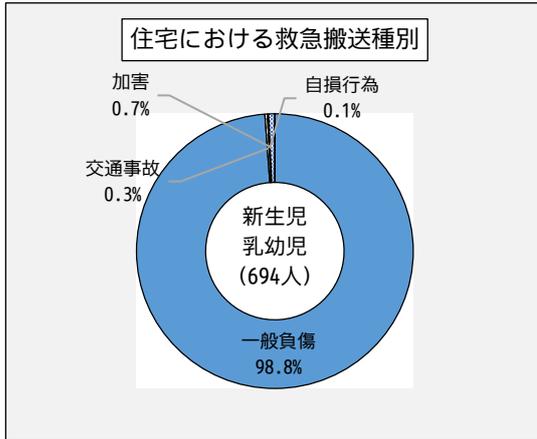


郡山地方広域消防組合「救急搬送データ」より

## 分野2 こどもの安全

### (5) 住宅から救急搬送されたこどものけがや事故種別（郡山市）（2014～2021年累計）

新生児～乳幼児は、「一般負傷」が98.8%で一番多い。少年も「一般負傷」が70.6%で一番多く、次いで「自損行為」が16.9%となっている。

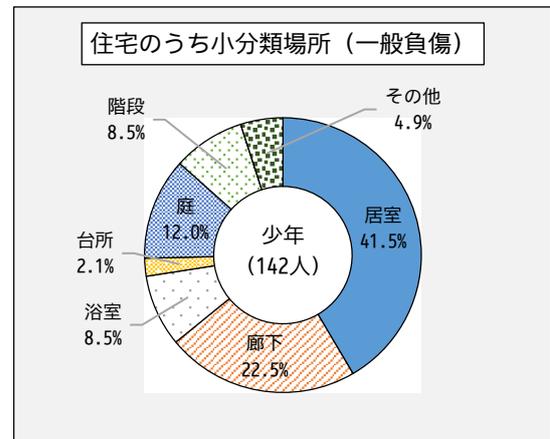
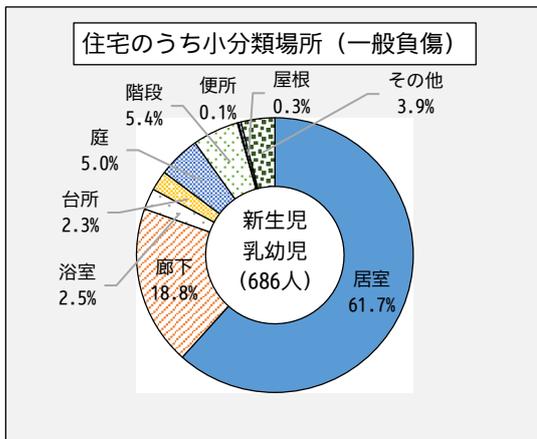


郡山地方広域消防組合「救急搬送データ」より

### (6) 住宅から一般負傷を要因に救急搬送されたこどものけがや事故の小分類場所（郡山市）（2014～2021年累計）

新生児～乳幼児は、「居室」が61.7%で一番多く、次いで「廊下」が18.8%、「階段」が5.4%となっている。

少年は、「居室」が41.5%で一番多く、次いで「廊下」が22.5%、「庭」が12.0%となっている。



郡山地方広域消防組合「救急搬送データ」より

居室（居間、応接室、寝室など）  
台所（食堂を含む）  
便所  
その他（物置、地下室、車庫等）

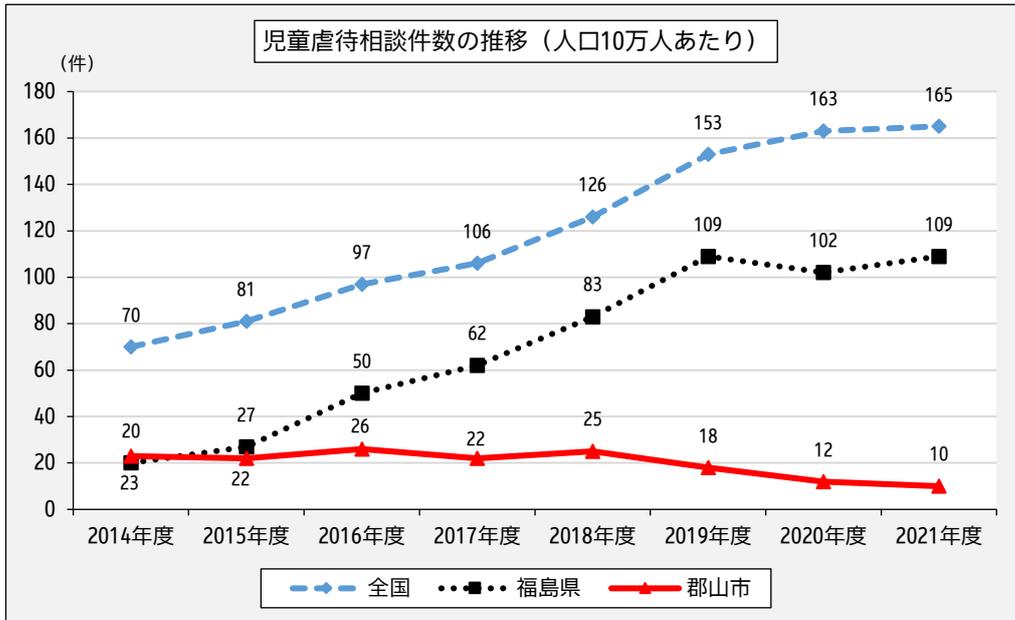
廊下（玄関などの通路を含む）  
庭（テラス等を含む）  
屋根（屋上、物干し台、ベランダ、バルコニー等を含む）

浴室（シャワー室、洗面所を含む）  
階段（踊場を含む）

## 分野2 こどもの安全

### (7) 児童虐待の相談件数推移（人口10万人あたり）

全国、県ともに上昇傾向にあるが、郡山市は2018年度以降減少傾向にある。

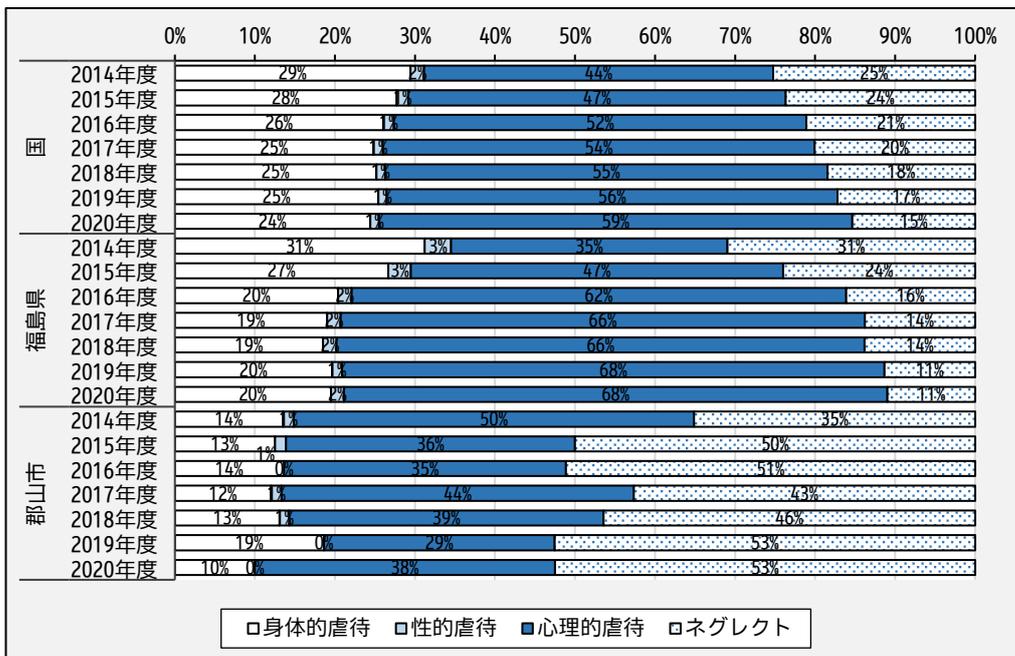


厚生労働省「児童相談所における児童虐待相談対応件数」

こども家庭相談センター「相談等の取扱件数推移（相談実件数）」より

### (8) 児童虐待種別の各年の割合

全国は、「心理的虐待」の割合が、年々大きくなっており、占める割合も一番大きい。県も同様に「心理的虐待」の割合が大きくなっており、占める割合も大きい。郡山市は、国、県と違い比較的「ネグレクト」の占める割合が大きい。



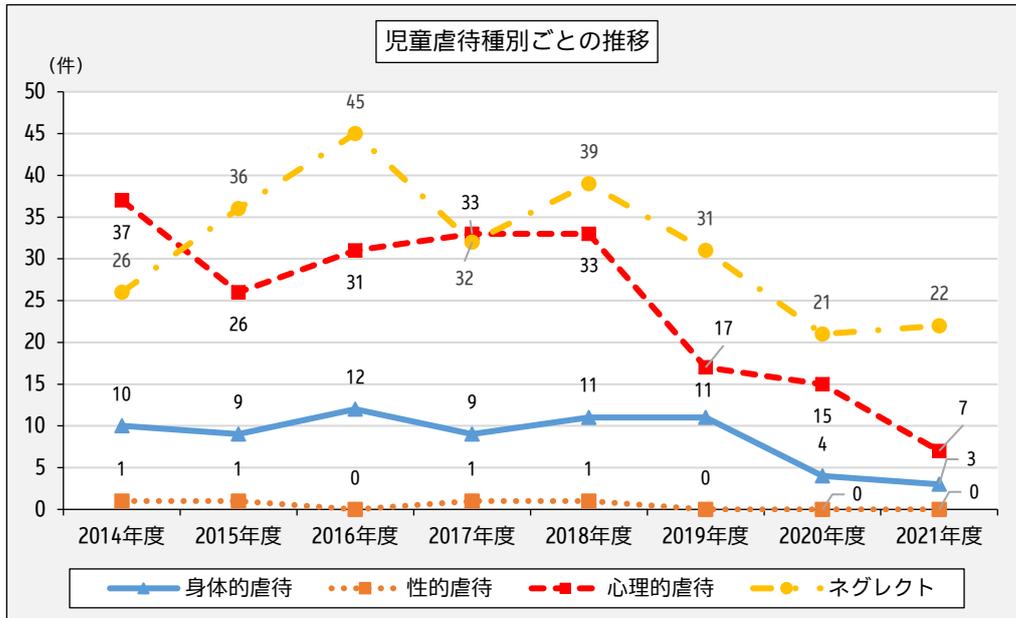
厚生労働省「児童相談所における児童虐待相談対応件数」

こども家庭相談センター「相談等の取扱件数推移」より

## 分野2 こどもの安全

### (9) 児童虐待種別ごとの推移（郡山市）

「心理的虐待※1」と「ネグレクト※2」が常に多い状態で推移している。



こども家庭相談センター「相談等の取扱件数推移」より

※1 心理的虐待…大声や脅しなどで恐怖に陥れる、無視や拒否的な態度をとるなどのこどもに心理的な傷を負わせる行為

※2 ネグレクト…保護の怠慢、拒否、放置により、こどもの健康状態や安全を損なう行為

### 分野3 高齢者の安全

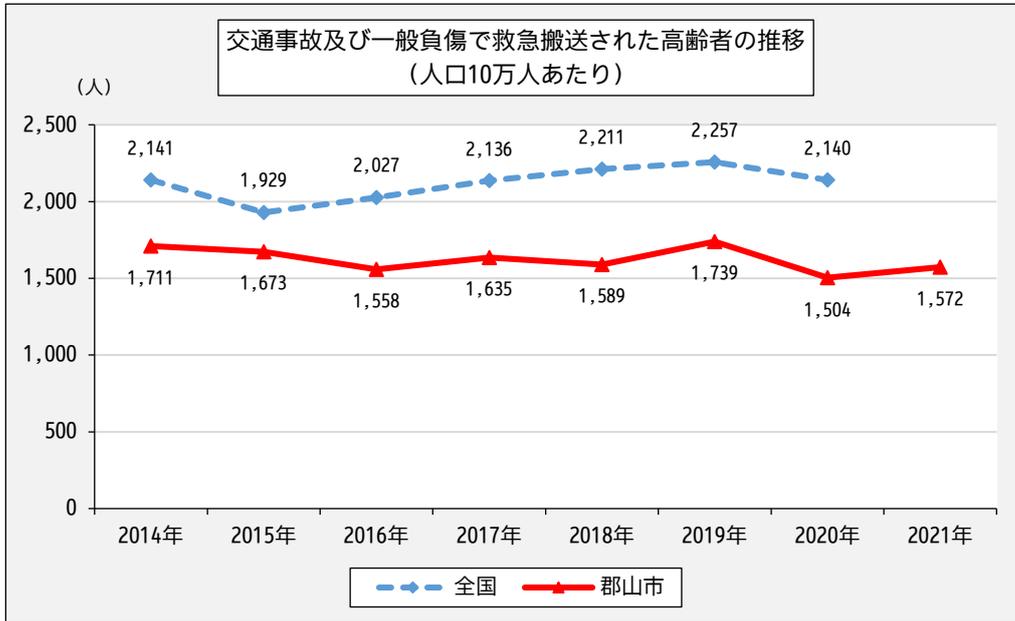
<年齢区分>

高齢者…65歳以上

全国の人口は国勢調査の年齢別人口（2014年…2010年実施、2015～2019年…2015年実施、2020～2021年…2020年実施）、郡山市の人口は各年1月1日現在の住民基本台帳に基づく人口から算出。

(1) 全国・市の交通事故及び一般負傷を要因に救急搬送された高齢者（65歳以上）の推移（人口10万人あたり）

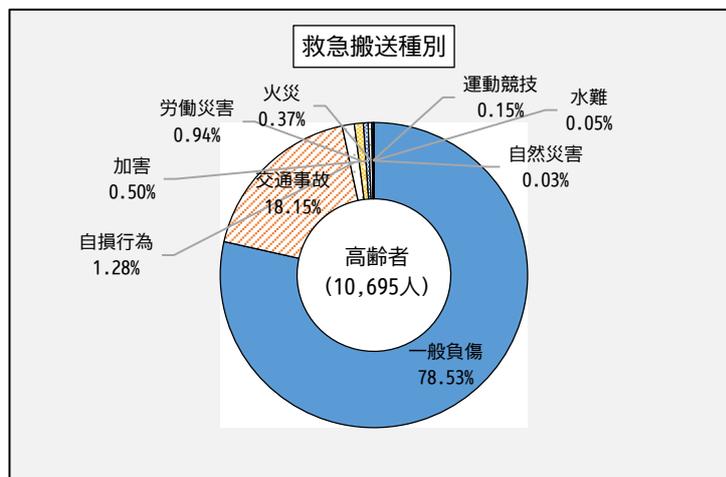
郡山市は、全国を下回り、ほぼ横ばいで推移している。



総務省消防庁「消防白書」、郡山地方広域消防組合「救急搬送データ（国表）」より

(2) 救急搬送された高齢者のけがや事故の種別（郡山市）（2014～2021年累計）

「一般負傷」が一番多く78.5%を占める。次いで「交通事故」が18.2%である。

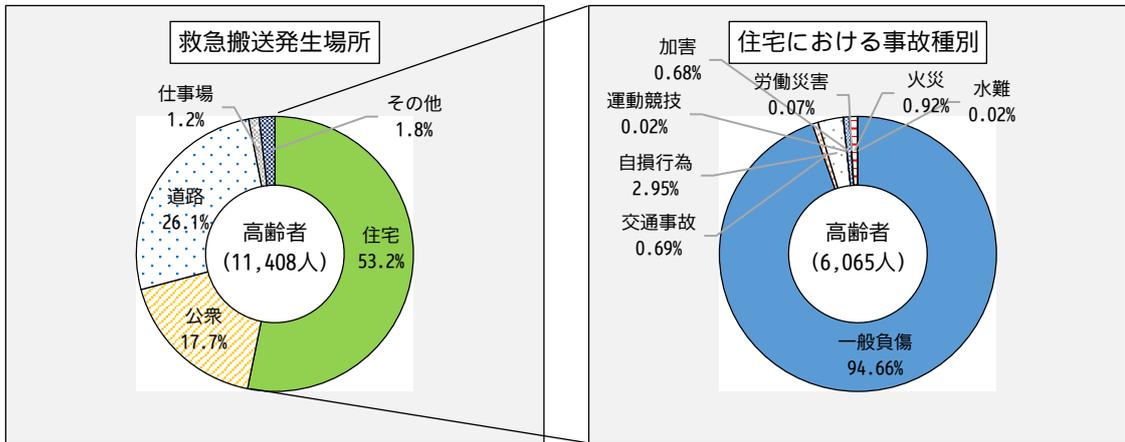


郡山地方広域消防組合「救急搬送データ（国表）」より

### 分野3 高齢者の安全

#### (3) 高齢者のけがや事故による救急搬送発生場所（郡山市）（2014～2021年累計）

約5割は「住宅」である。「住宅」の事故種別は「一般負傷」が9割以上を占める。

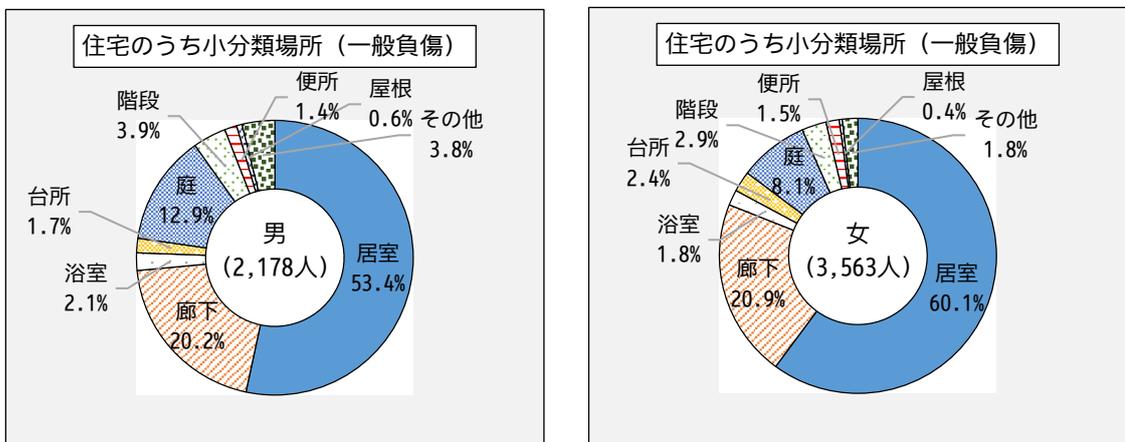


郡山地方広域消防組合「救急搬送データ」より

※全体の53.2%を占める「住宅」で起きるけがの種類の内訳は、右のグラフのとおり

#### (4) 住宅から一般負傷を要因に救急搬送された高齢者の男女別発生場所小分類（郡山市）（2014～2021年累計）

男女ともに「居室」が一番多く、男が53.4%、女が60.1%となっている。  
次いで、「廊下」で男が20.2%、女が20.9%となっている。



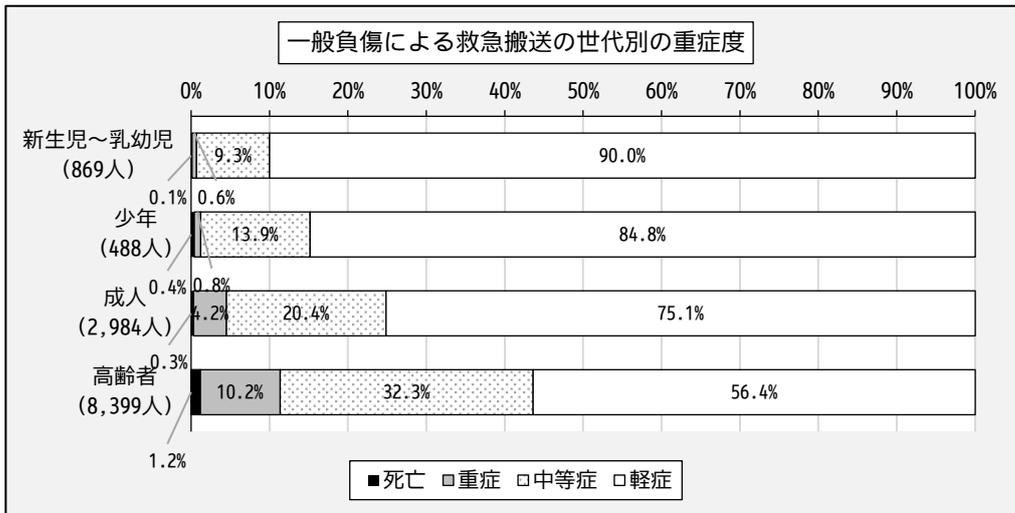
郡山地方広域消防組合「救急搬送データ」より

居室（居間、応接室、寝室など）	廊下（玄関などの通路を含む）	浴室（シャワー室、洗面所を含む）
台所（食堂を含む）	庭（テラス等を含む）	階段（踊場を含む）
便所	屋根（屋上、物干し台、ベランダ、バルコニー等を含む）	
その他（物置、地下室、車庫等）		

### 分野3 高齢者の安全

#### (5) 一般負傷を要因とした救急搬送の年齢別重症度率（郡山市）（2014～2021年累計）

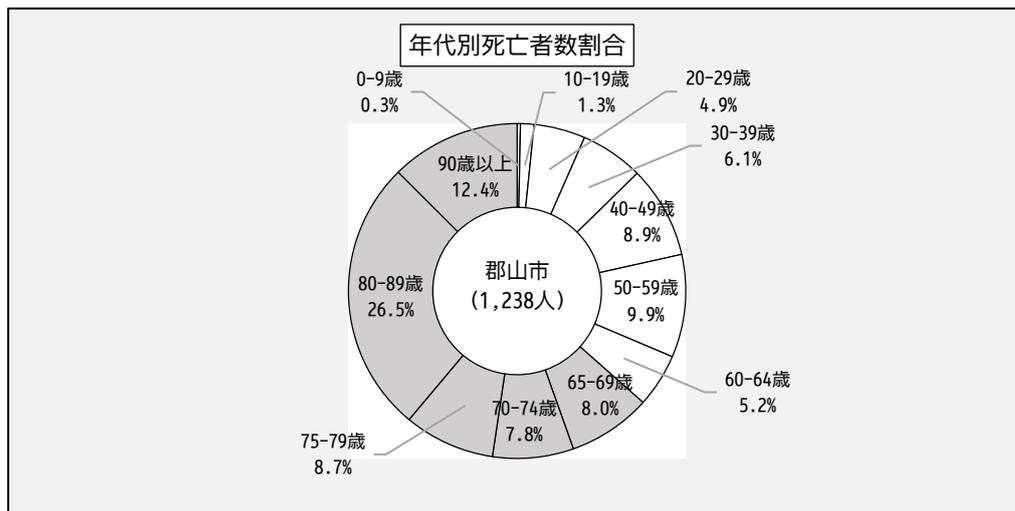
高齢者の重症度率は、「重症」と「死亡」を合わせると11.4%であり、成人の4.5%と比べると倍以上で、高齢者は成人などと比べると重症化しやすいことがわかる。



郡山地方広域消防組合「救急搬送データ（国表）」より

#### (6) 傷病及びその他の外因による年代別死亡者数（郡山市）（2014～2020年累計）

65歳以上が6割以上を占める。



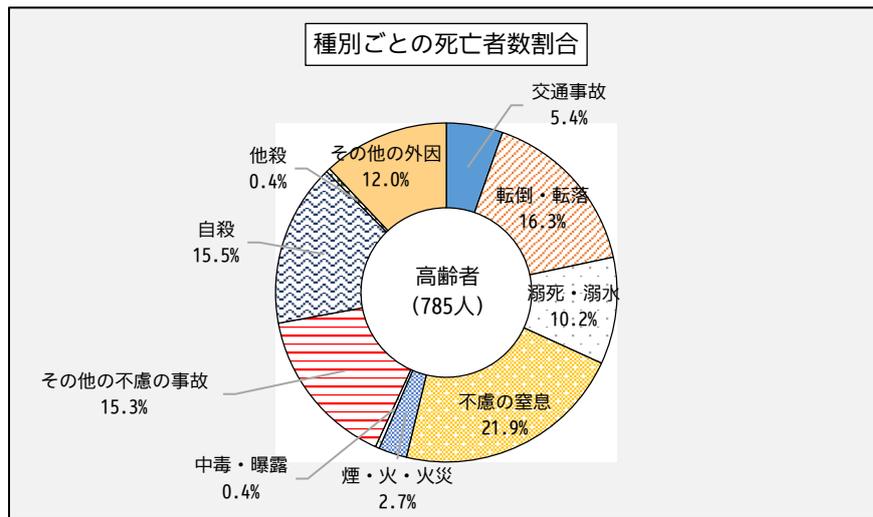
郡山市保健所「人口動態統計」より

年齢層	人口割合(%)…①	死亡割合(%)…②	①-②(%)
0-9歳	7.9	0.3	7.6
10-19歳	9.1	1.3	7.8
20-29歳	9.9	4.9	5
30-39歳	11.8	6.1	5.7
40-49歳	14.3	8.9	5.4
50-59歳	13.3	9.9	3.4
60-64歳	6.6	5.2	1.4
65-69歳	6.8	8.0	-1.2
70-74歳	7.4	7.8	-0.4
75-79歳	4.5	8.7	-4.2
80-89歳	6.5	26.5	-20
90歳以上	1.8	12.4	-10.6

### 分野3 高齢者の安全

#### (7) 高齢者のけがや事故による種別ごとの死亡者数（郡山市）（2014～2020年累計）

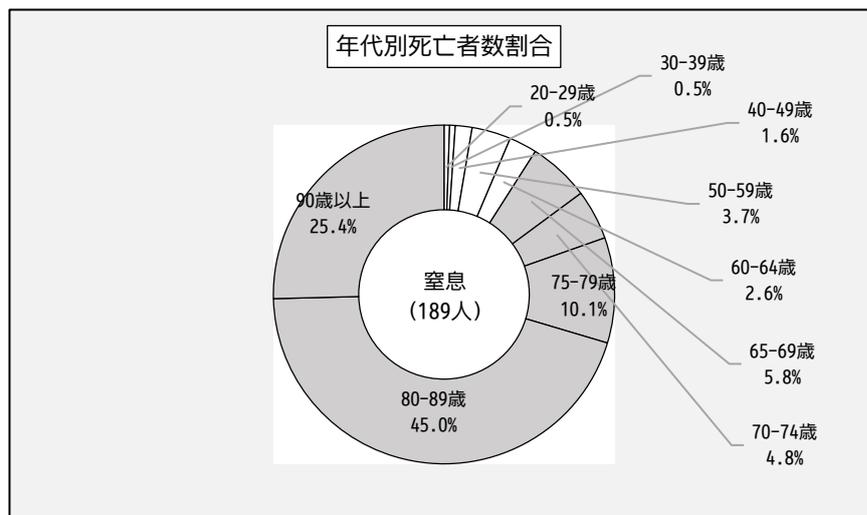
「不慮の窒息」が一番多く21.9%となっており、次いで「転倒・転落」が16.3%、「自殺」が15.5%となっている。



郡山市保健所「人口動態統計」より

#### (8) 窒息による年代別死亡者数の割合（郡山市）（2014～2020年累計）

「80-89歳」が45.0%で一番多く、次いで「90歳以上」が25.4%となっている。高齢者（65歳以上）が9割以上を占める。

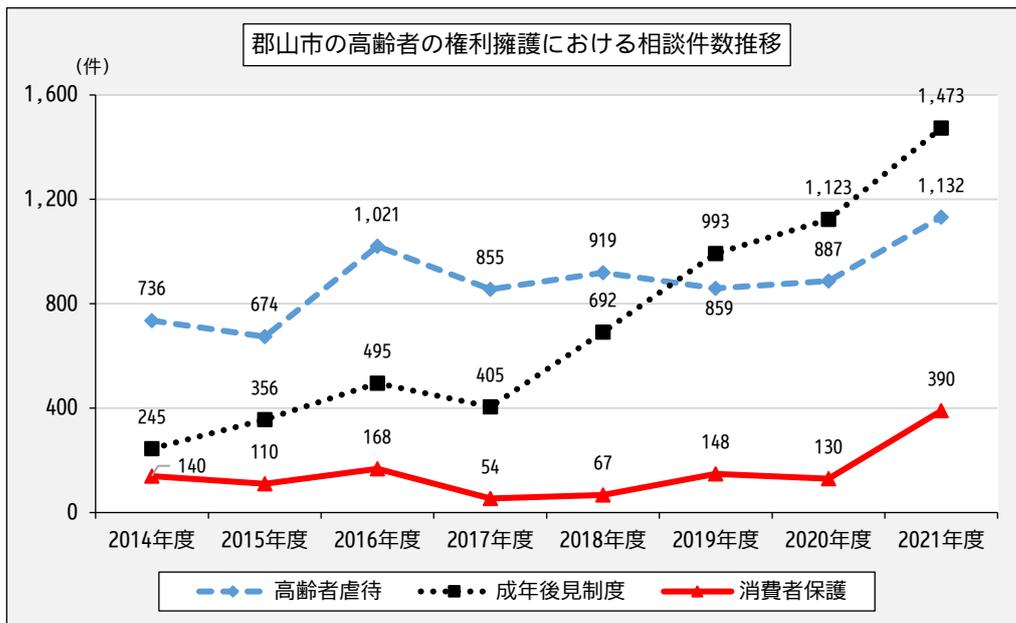


郡山市保健所「人口動態統計」より

### 分野3 高齢者の安全

#### (9) 高齢者の権利擁護における相談件数推移（郡山市）

「高齢者虐待」は2016年度に増加したが、それ以降は横ばい傾向にあり、2021年度は再度増加した。

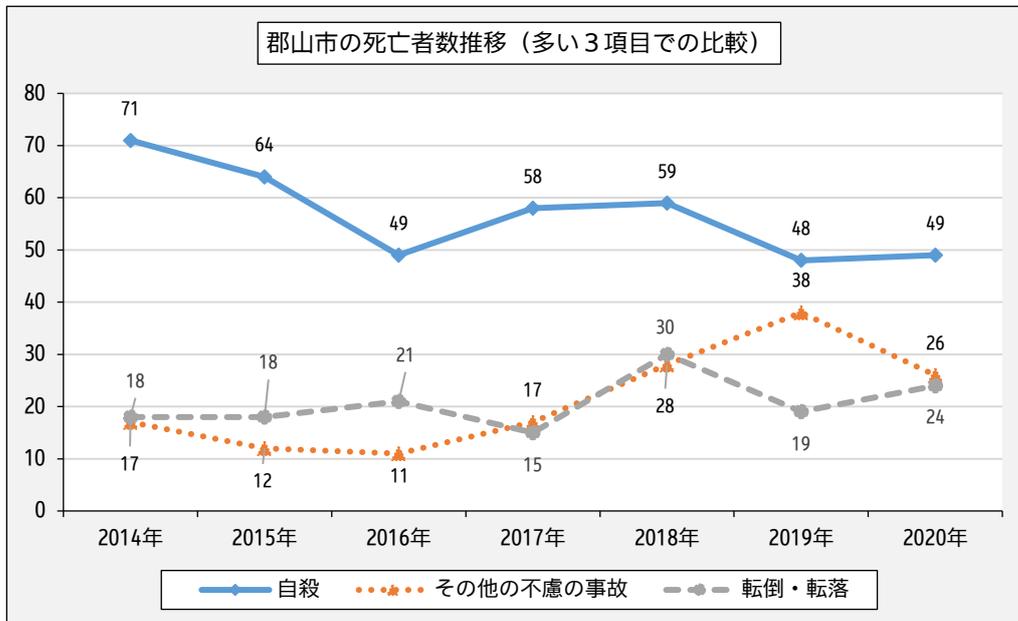


地域包括ケア推進課「センター別包括的支援事業の実施状況」より

## 分野4 自殺予防

### (1) 傷病及びその他外因ごとの死亡者数推移（郡山市） （2020年における死亡者数が多い3項目での比較）

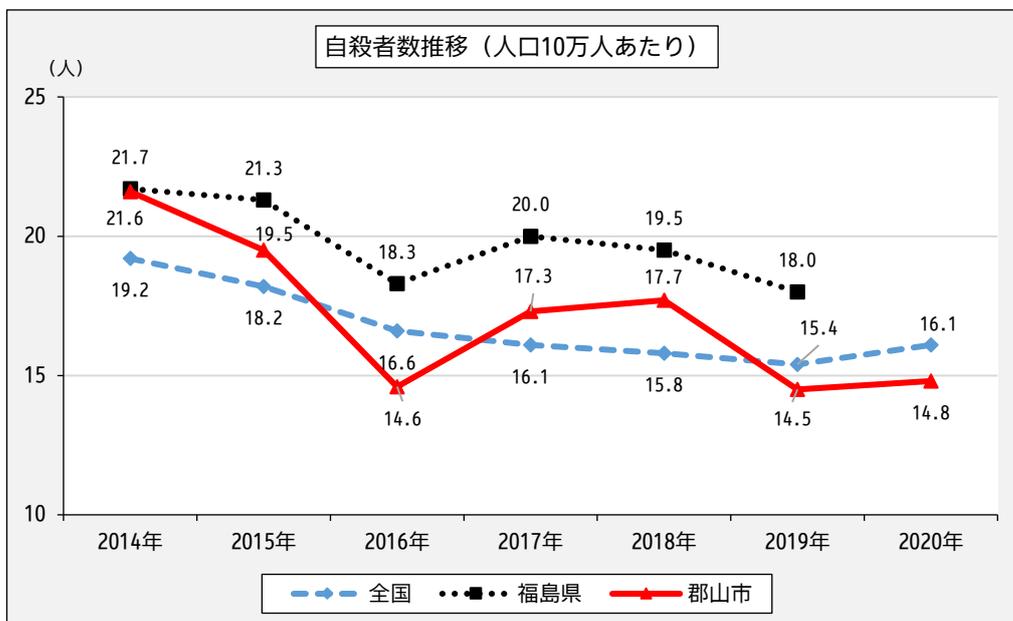
病気を除く死因では、「自殺」が常に一番多く、次いで「その他の不慮の事故」、「転倒・転落」となっている。「自殺」は減少傾向にある。



郡山市保健所「人口動態統計」より

### (2) 自殺者数推移（人口10万人あたり）

郡山市は2014年以降、減少傾向にある。

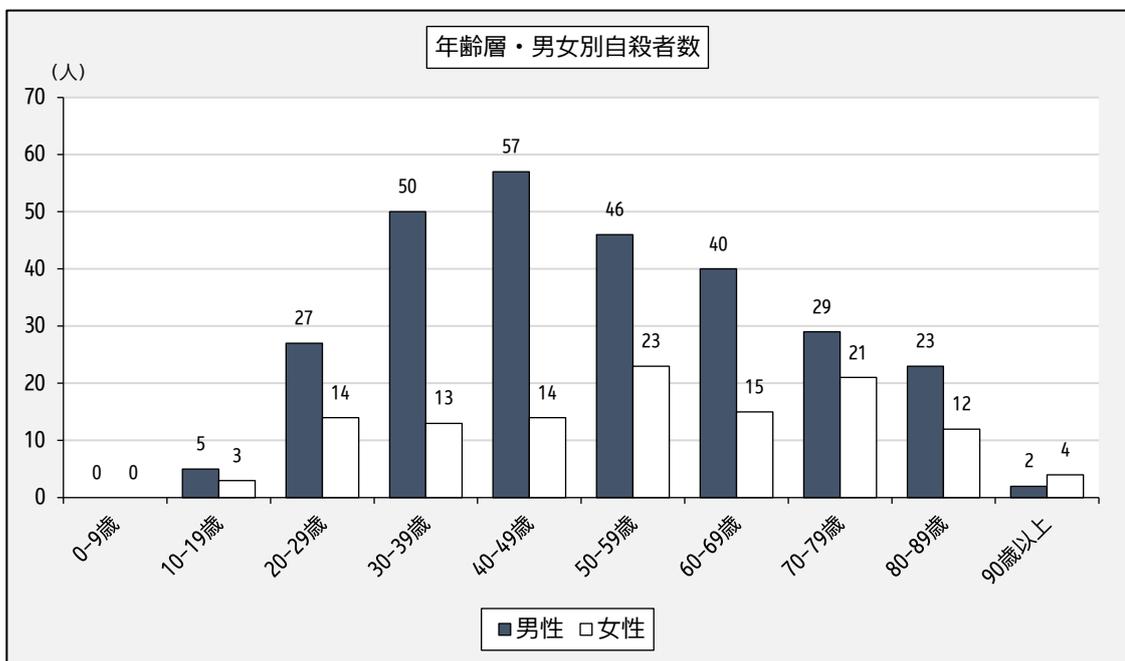
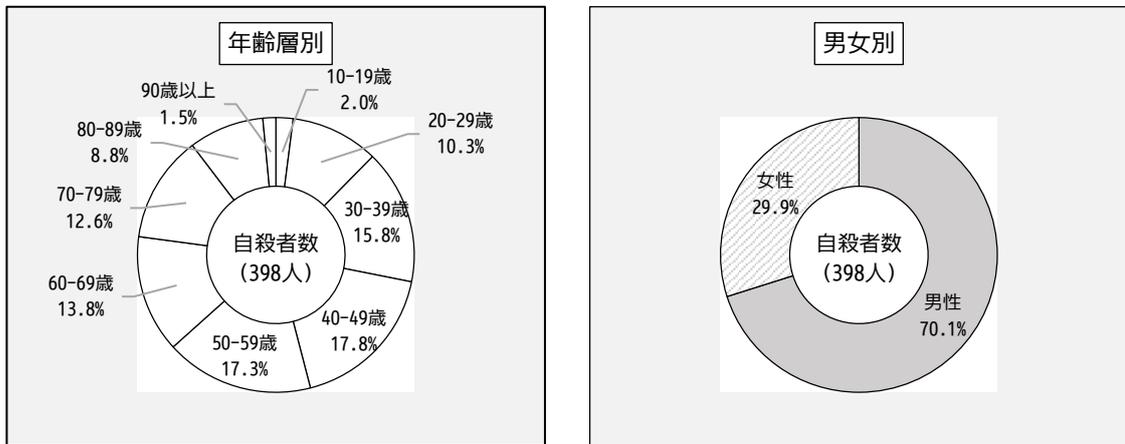


厚生労働省・郡山市保健所「人口動態統計」より

## 分野4 自殺予防

### (3) 年齢層別・男女別自殺者数（郡山市）（2014～2020年累計）

年齢層では、「40-49歳」が17.8%で一番多く、次いで「50-59歳」が17.3%、「30-39歳」が15.8%となっている。男女別では、男性のほうが女性より2倍以上多い。また、年齢別男女別でみると30-50代の男性の自殺が多い。

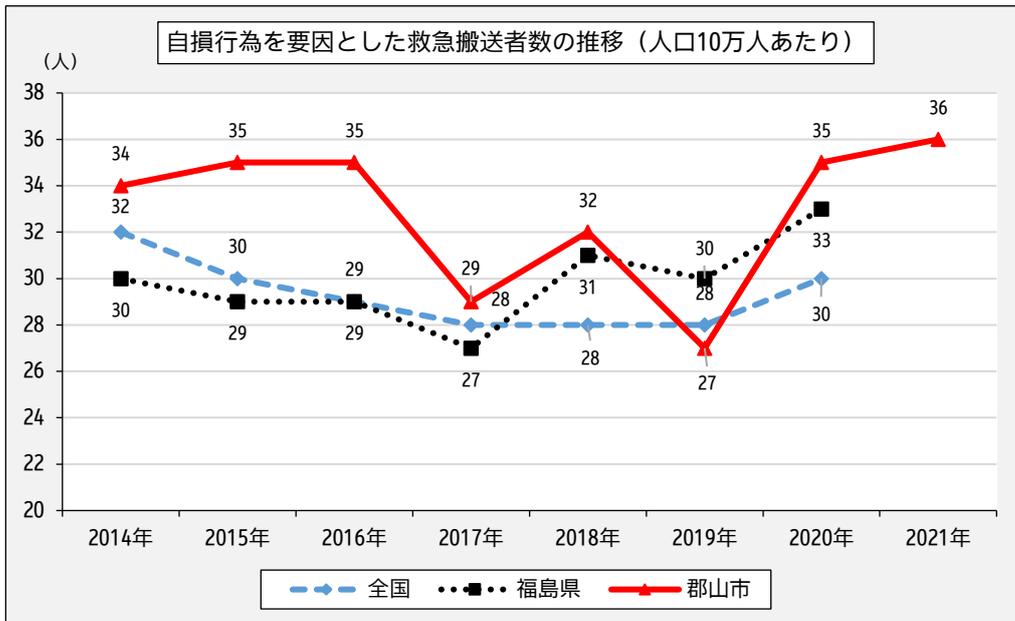


郡山市保健所「人口動態統計」より

## 分野4 自殺予防

### (4) 自損行為を要因とした救急搬送者数推移（人口10万人あたり）

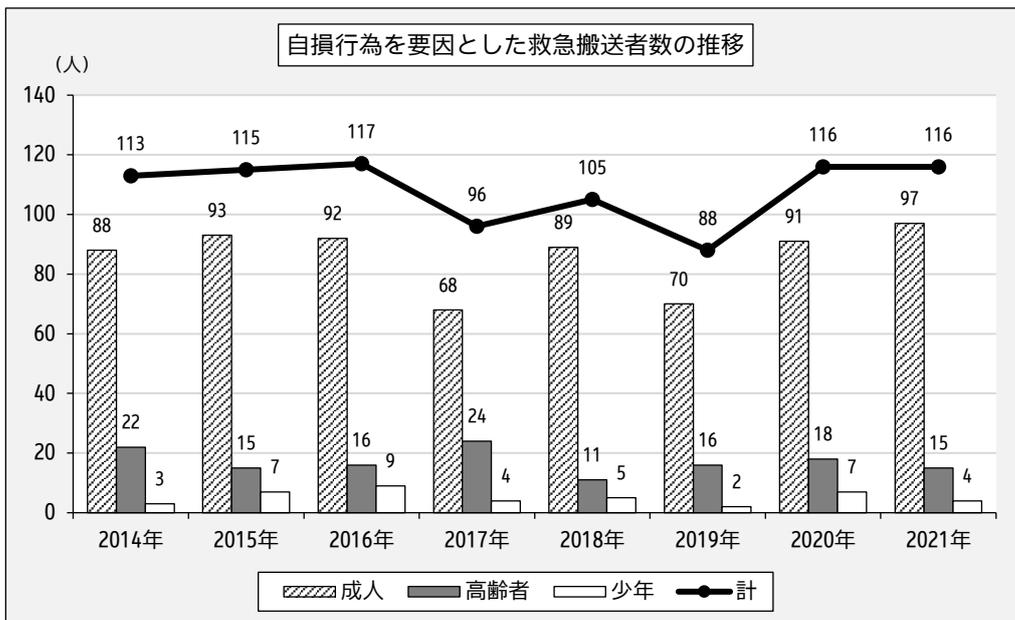
郡山市は、2014年以降全国を上回る傾向にあり2017年に減少したものの、現在は増加傾向にある。



総務省消防庁「消防白書」、郡山地方広域消防組合「救急搬送データ（国表）」より

### (5) 自損行為を要因とした年齢階層別救急搬送者数推移（郡山市）

成人が約7割を占めている。



郡山地方広域消防組合「救急搬送データ（国表）」より

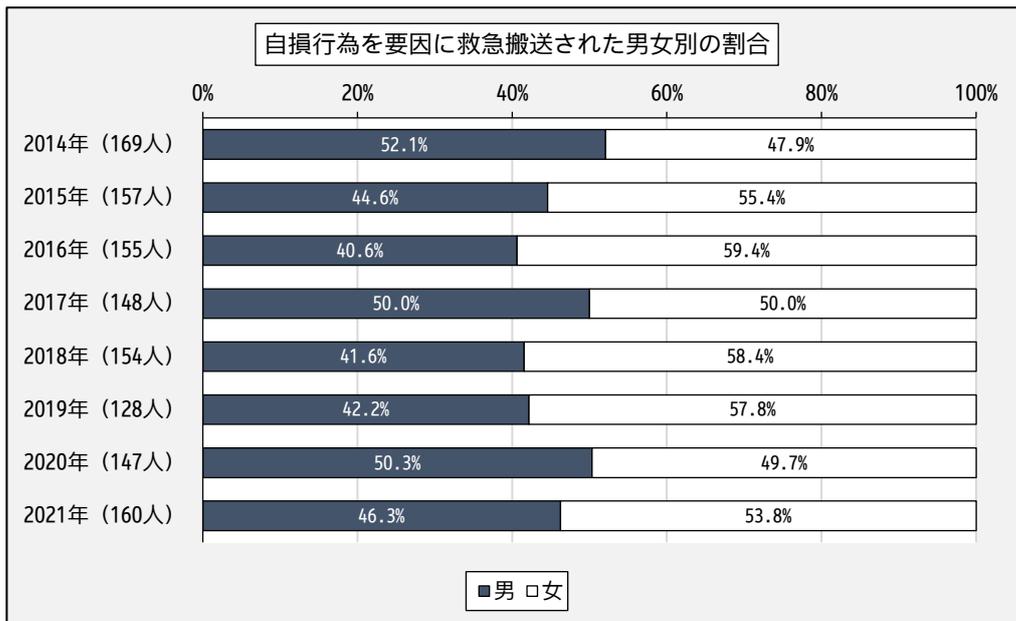
<年齢区分>

少年…7歳から17歳まで 成人…18歳から64歳まで 高齢者…65歳以上

## 分野4 自殺予防

### (6) 自損行為を要因に救急搬送された男女別の割合の推移 (郡山市)

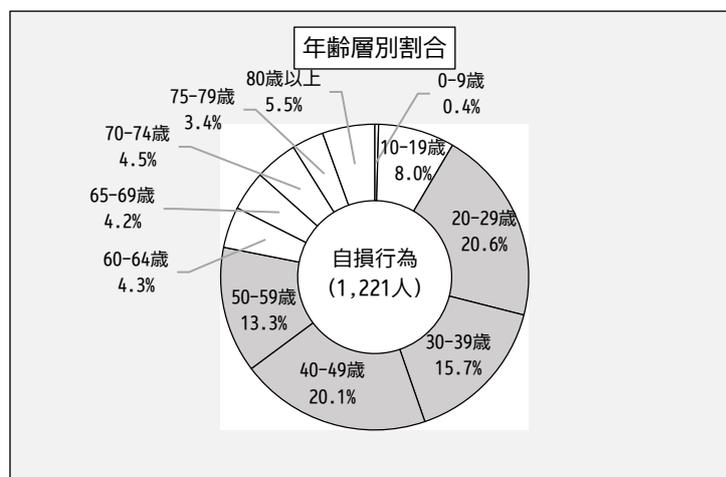
女性の自損行為者の割合が多く、2016、2018、2019年では約6割を占めている。



郡山地方広域消防組合「救急搬送データ」より

### (7) 自損行為を要因に救急搬送された年齢層別割合 (郡山市) (2014~2021年累計)

一番多い年代は「20-29歳」で20.6%となっており、次いで「40-49歳」が20.1%、「30-39歳」が15.7%となっている。20-50代で約7割を占めている。

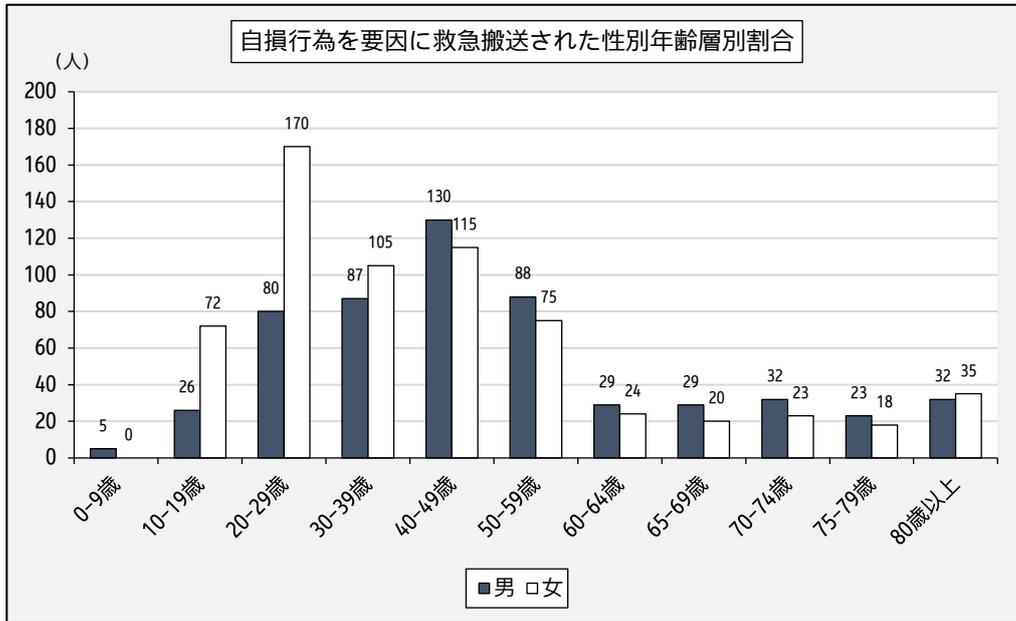


郡山地方広域消防組合「救急搬送データ」より

## 分野4 自殺予防

### (8) 自損行為を要因に救急搬送された性別年齢層別割合(郡山市) (2014~2021年累計)

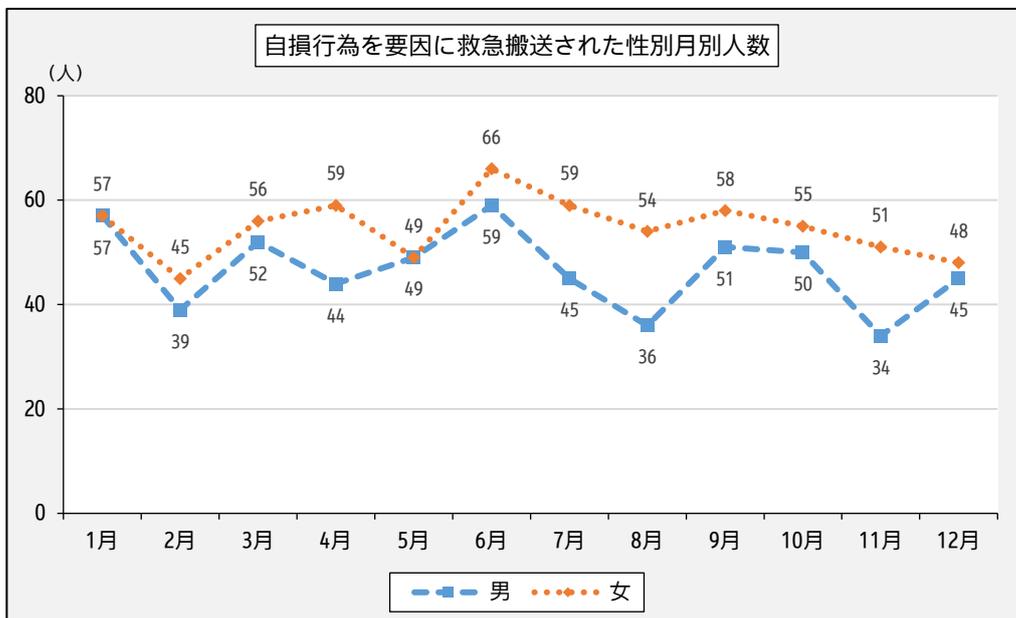
性別年齢層別では、女性は「20-29歳」が170人で一番多く、次いで「40-49歳」が115人、「30-39歳」が105人となっており、20代の女性の自損行為が多い。  
また、男性は、「40-49歳」が130人で一番多く、次いで「50-59歳」が88人、「30-39歳」が87人となっており、働き世代の自損行為が多いことがわかる。



郡山地方広域消防組合「救急搬送データ」より

### (9) 自損行為を要因に救急搬送された月別人数(郡山市) (2014~2021年累計)

男性は、「6月」が59人で一番多く、次いで「1月」が57人となっている。  
女性は、「6月」が66人で一番多く、次いで「4月」「7月」が59人となっている。

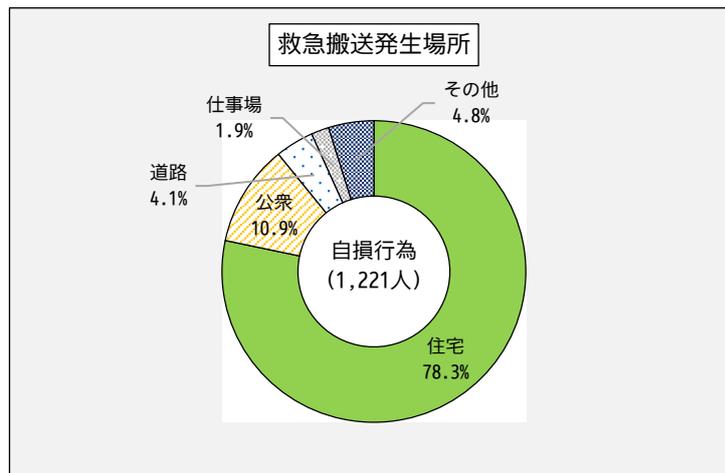


郡山地方広域消防組合「救急搬送データ」より

## 分野4 自殺予防

### (10) 自損行為の救急搬送発生場所（郡山市）（2014～2021年累計）

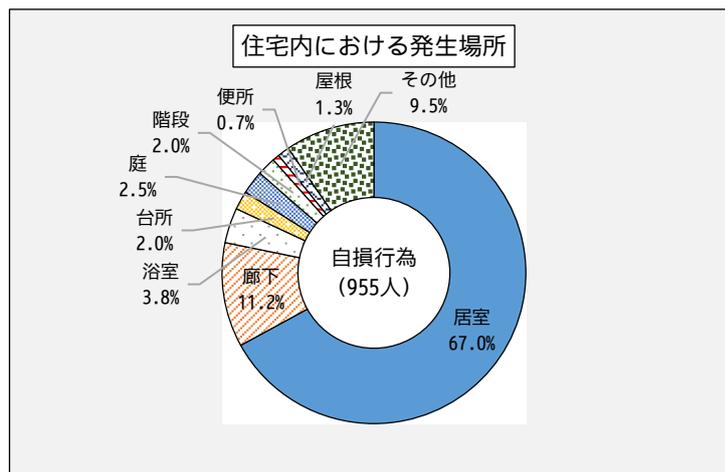
「住宅」が一番多く78.3%となっている。次いで「公衆」が10.9%、「道路」が4.1%となっている。



郡山地方広域消防組合「救急搬送データ」より

### (11) 自損行為の住宅内での救急搬送発生場所（郡山市）（2014～2021年累計）

「居室」が67.0%で一番多く、次いで「廊下」が11.2%、「その他」が9.5%となっている。



郡山地方広域消防組合「救急搬送データ」より

居室（居間、応接室、寝室など）  
台所（食堂を含む）  
便所  
その他（物置、地下室、車庫等）

廊下（玄関などの通路を含む）  
庭（テラス等を含む）  
屋根（屋上、物干し台、ベランダ、バルコニー等を含む）

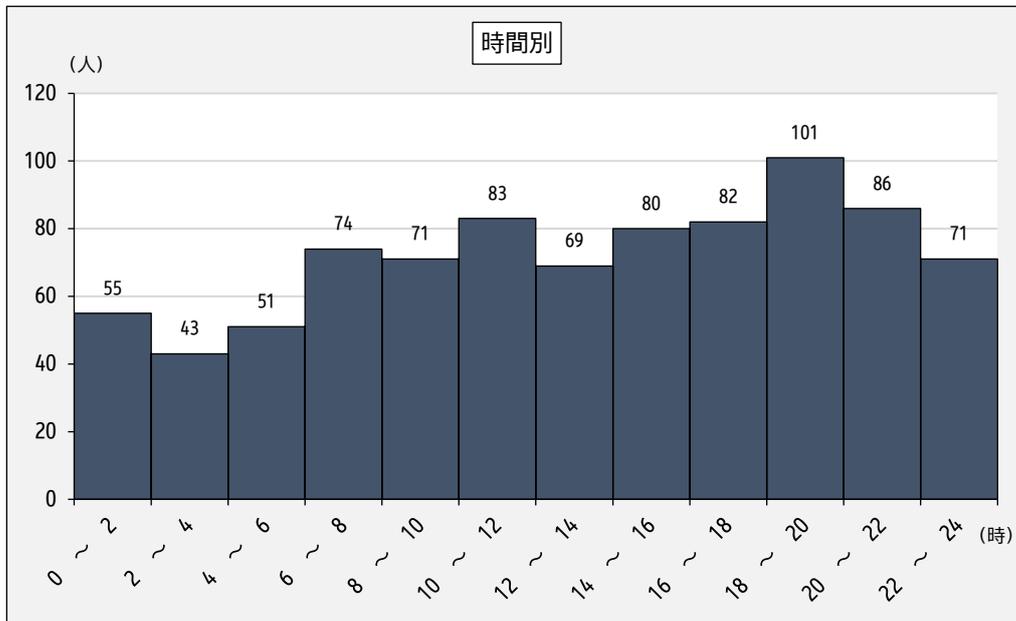
浴室（シャワー室、洗面所を含む）  
階段（踊場を含む）

## 分野4 自殺予防

### (12) 自損行為を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数（郡山市）（2014～2021年累計）

#### ア 時間別

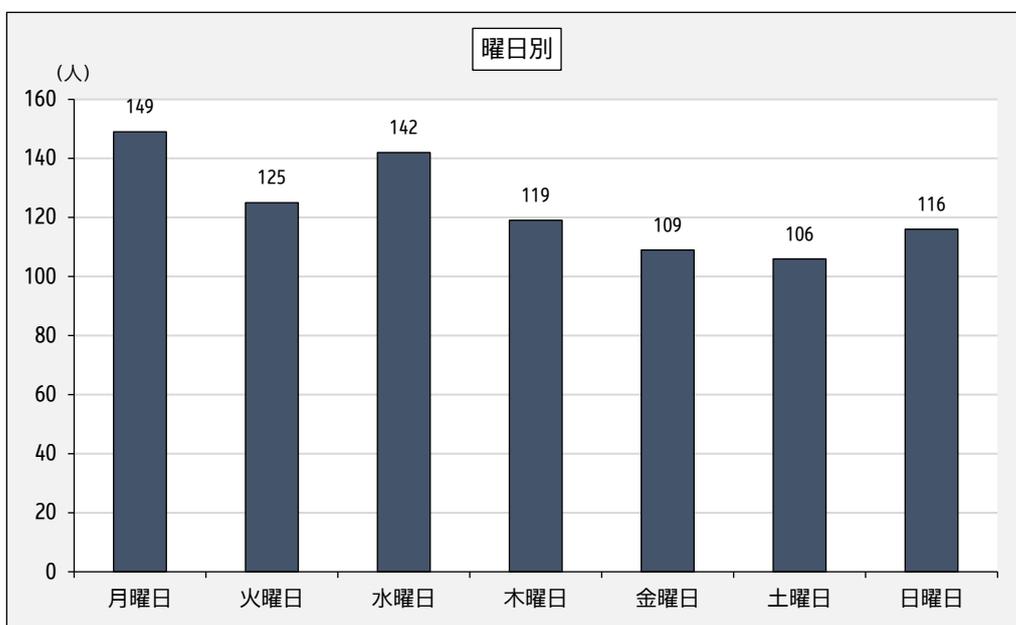
「18～20時台」が101人で一番多く、次いで「20～22時台」が86人、「10～12時台」が83人となっている。



郡山地方広域消防組合「救急搬送データ（国表）」より

#### イ 曜日別

「月曜日」が149人で一番多く、次いで「水曜日」が142人、「火曜日」が125人となっている。

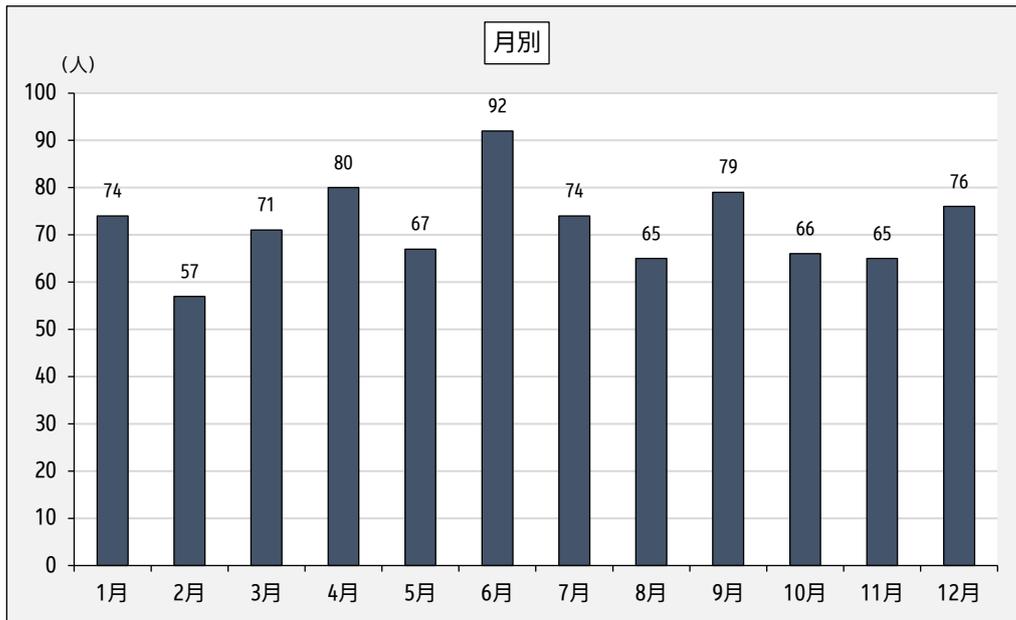


郡山地方広域消防組合「救急搬送データ（国表）」より

## 分野4 自殺予防

### ウ 月別

「6月」が92人で一番多く、次いで「4月」が80人、「9月」が79人となっている。

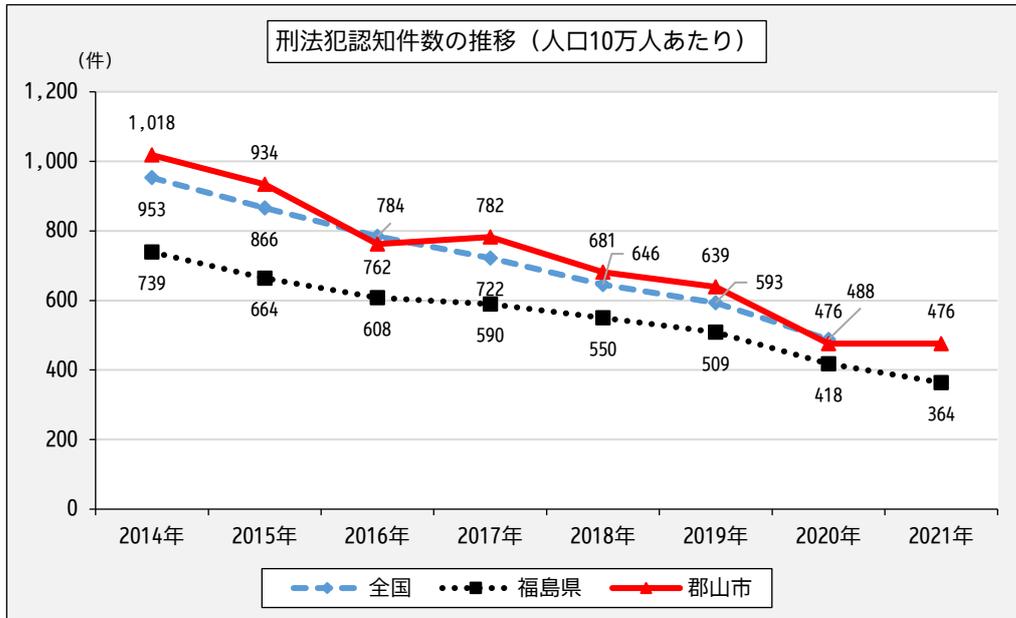


郡山地方広域消防組合「救急搬送データ(国表)」より

## 分野5 防犯

### (1) 刑法犯認知件数の推移（人口10万人あたり）

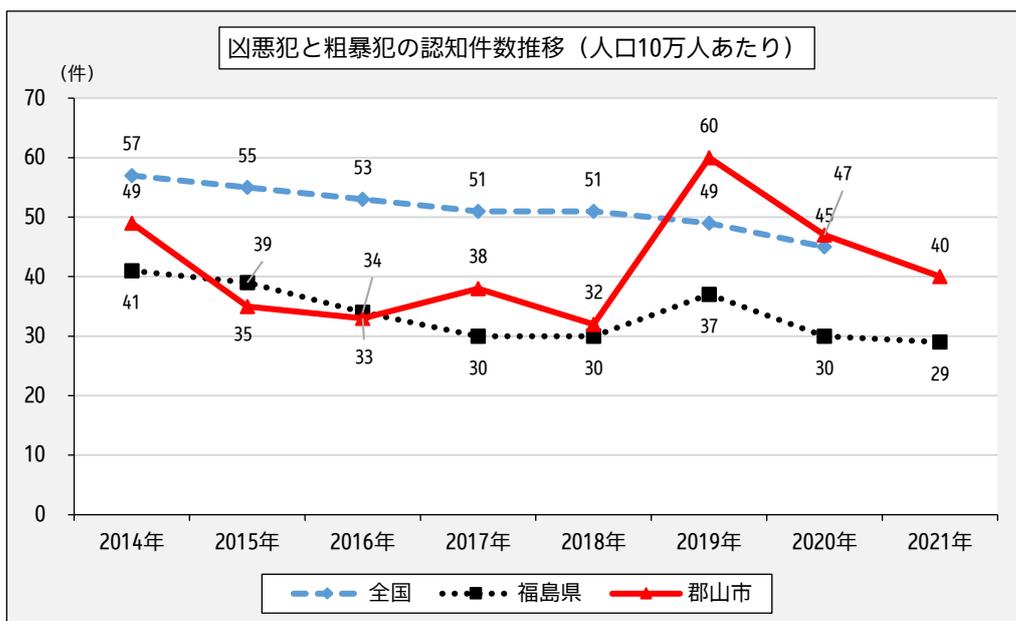
減少傾向が続いている。



警察庁「警察白書」、郡山警察署・郡山北警察署「地域安全白書」より

### (2) 凶悪及び粗暴犯認知件数合計の推移（人口10万人あたり）

2014年に全国を下回り、2015年には県を下回ったが、2017年は再び県を上回り、2019年には全国も上回った。2019年以降は減少傾向にある。

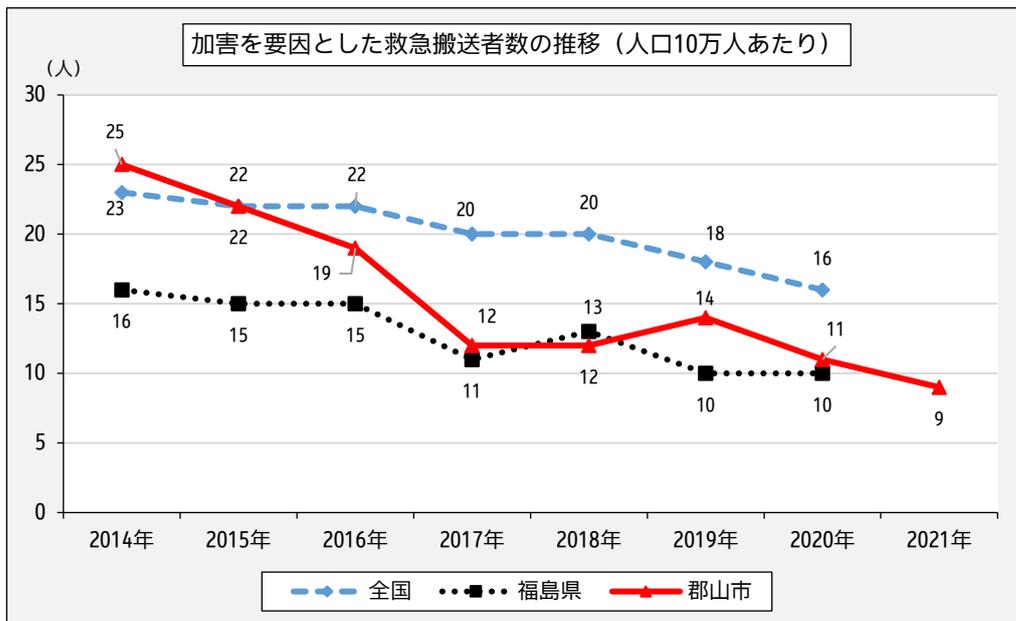


警察庁「警察白書」、郡山警察署・郡山北警察署「地域安全白書」より

## 分野5 防犯

### (3) 加害を要因とした救急搬送推移（人口10万人あたり）

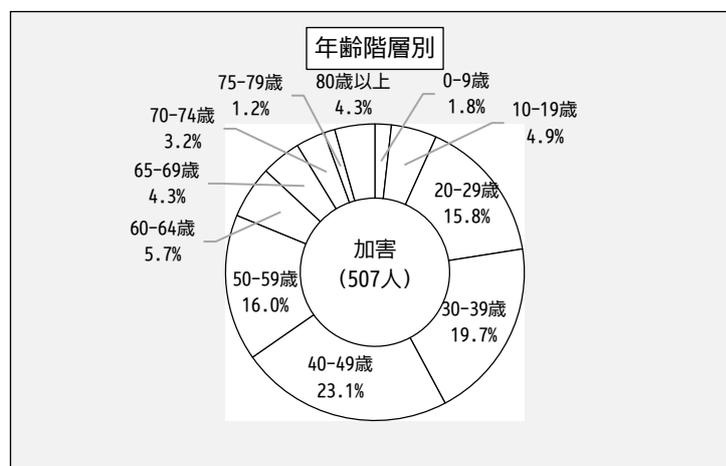
2014年から減少傾向が続いている。2016年に全国を下回り、2017年に大きく減少したが、その後は横ばいとなり、2019年以降は減少傾向にある。



総務省消防庁「消防白書」、福島県消防保安課「消防防災年報」、郡山地方広域消防組合「救急搬送データ（国表）」より

### (4) 加害を要因とした救急搬送の年齢階層別構成（郡山市）（2014～2021年累計）

「40-49歳」が23.1%で一番多く、次いで「30-39歳」が19.7%、「50-59歳」が16.0%となっている。

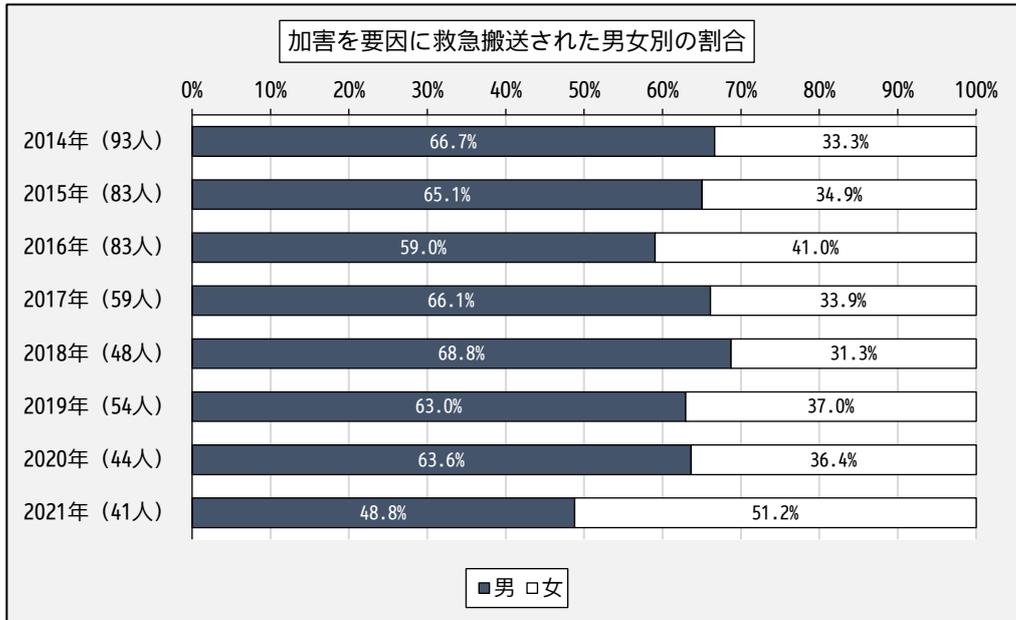


郡山地方広域消防組合「救急搬送データ」より

## 分野5 防犯

### (5) 加害を要因とした救急搬送の男女別構成（郡山市）

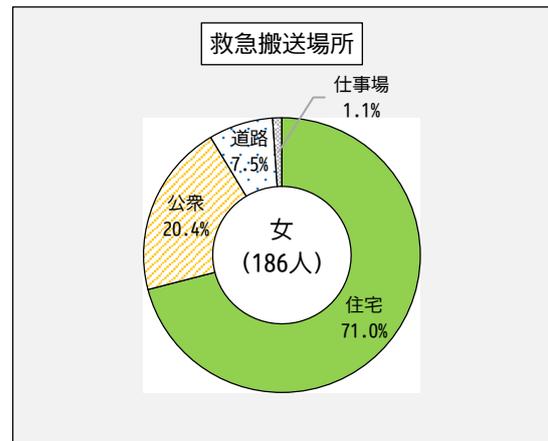
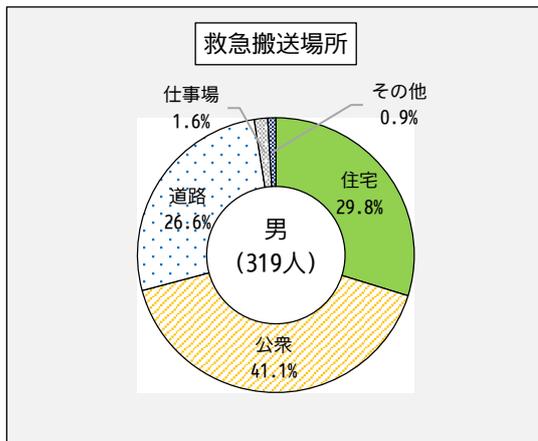
各年で男性が6割近くを占めていたが、2021年は女性の割合が増え、約5割ずつになった。



郡山地方広域消防組合「救急搬送データ」より

### (6) 加害を要因とした男女別の救急搬送場所（郡山市）（2014～2021年累計）

男性は、「公衆」が41.1%で一番多く、次いで「住宅」が29.8%、「道路」が26.6%となっている。女性は、「住宅」が71.0%で一番多く、次いで「公衆」が20.4%、「道路」が7.5%となっている。



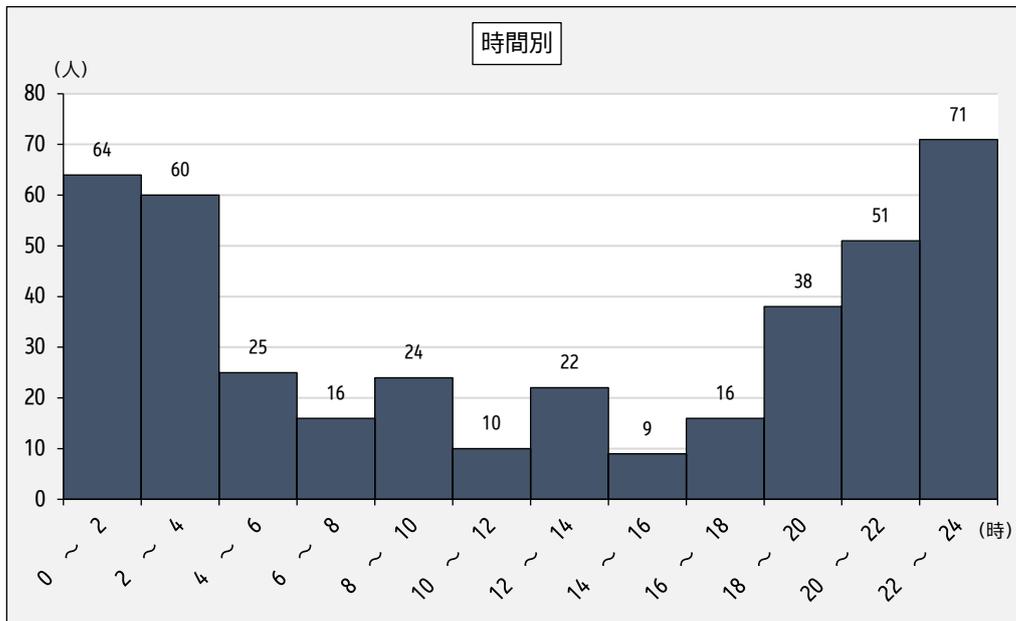
郡山地方広域消防組合「救急搬送データ」より

## 分野5 防犯

### (7) 加害を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数(郡山市) (2014~2021年累計)

#### ア 時間別

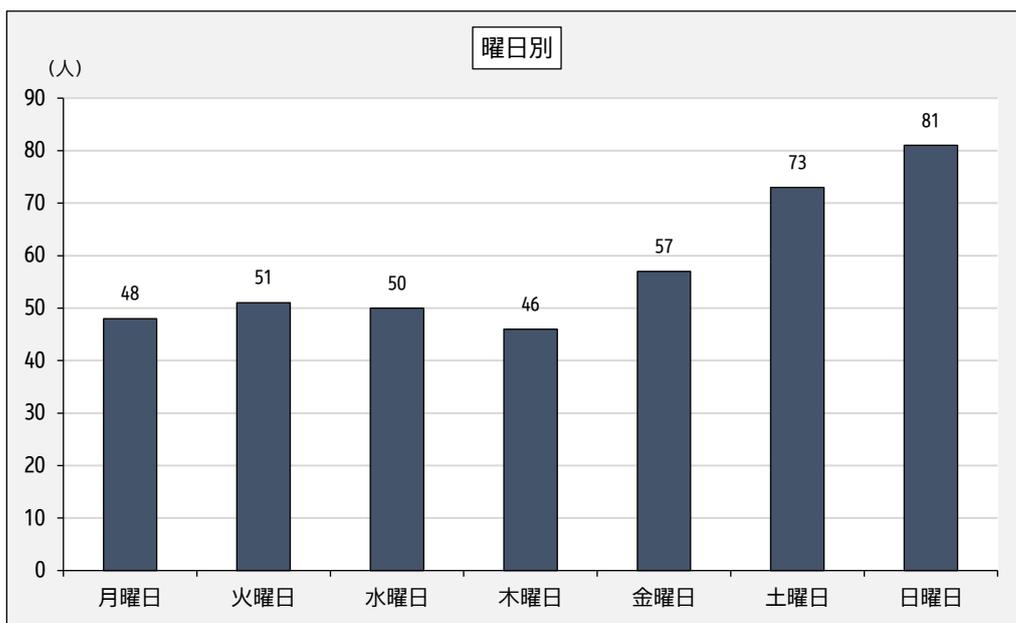
「22~24時台」が71人で一番多く、次いで「0~2時台」が64人、「2~4時台」が60人となっている。



郡山地方広域消防組合「救急搬送データ(国表)」より

#### イ 曜日別

「日曜日」が81人で一番多く、次いで「土曜日」が73人、「金曜日」が57人となっている。

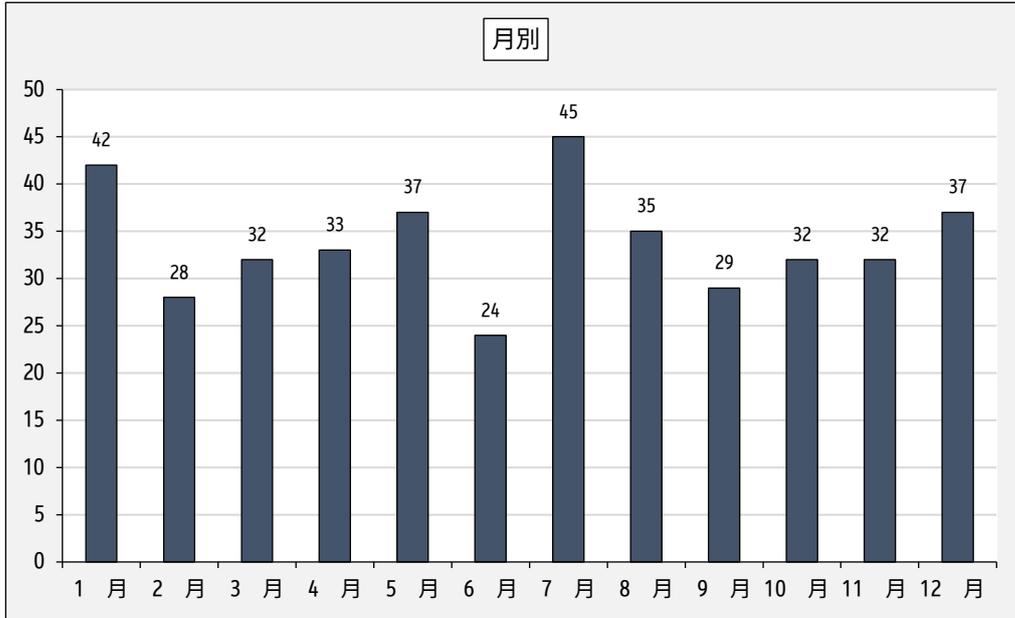


郡山地方広域消防組合「救急搬送データ(国表)」より

## 分野5 防犯

### ウ 月別

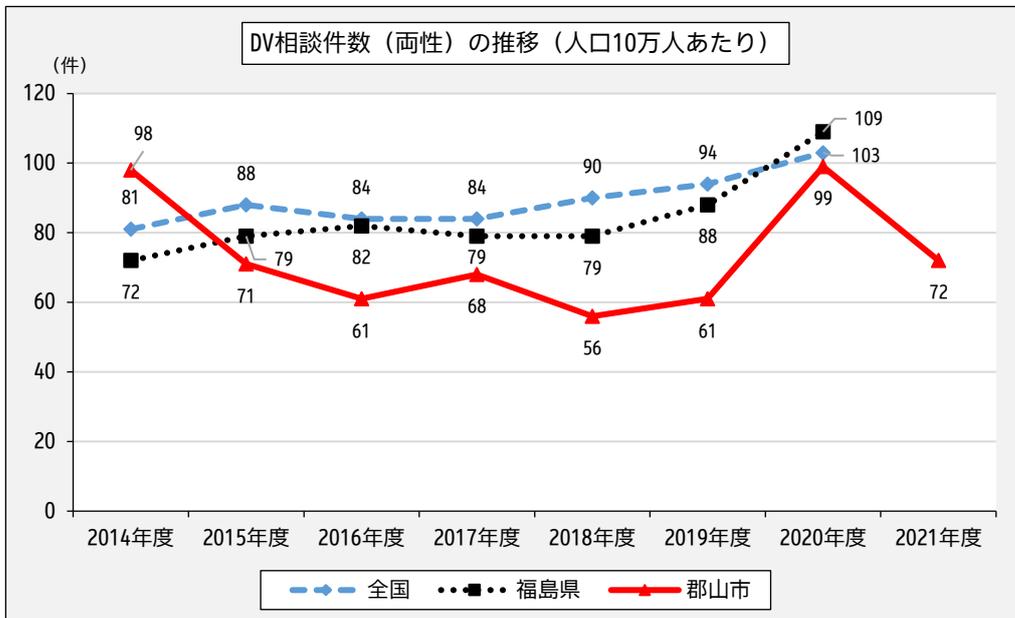
「7月」が45人で一番多く、次いで「1月」が42人、「5月」「12月」が37人となっている。



郡山地方広域消防組合「救急搬送データ（国表）」より

### (8) 配偶者によるDV（ドメスティックバイオレンス）相談件数の推移（郡山市） （人口10万人あたり）

郡山市は、2015年度に大幅に減少し、その後も減少傾向にあったが、2020年度に増加した。2014年度に全国及び県を上回ったが、それ以外の年は下回っている。



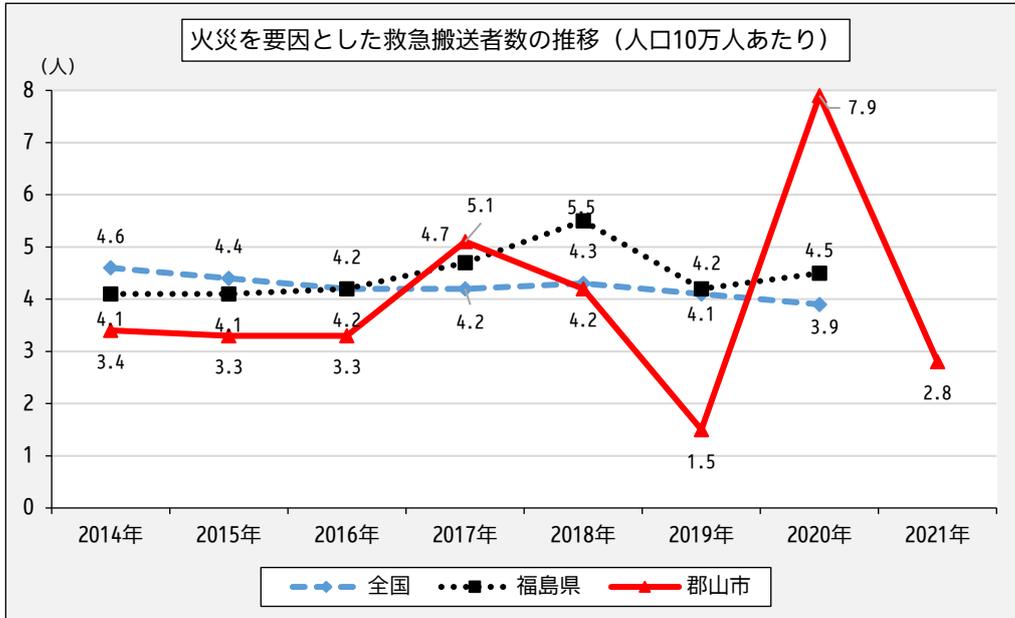
男女共同参画局「配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数等」

こども家庭相談センター「相談等の取扱件数推移（相談延べ件数）」より

## 分野6 防災・環境安全

### (1) 火災を要因とした救急搬送者数推移（人口10万人あたり）

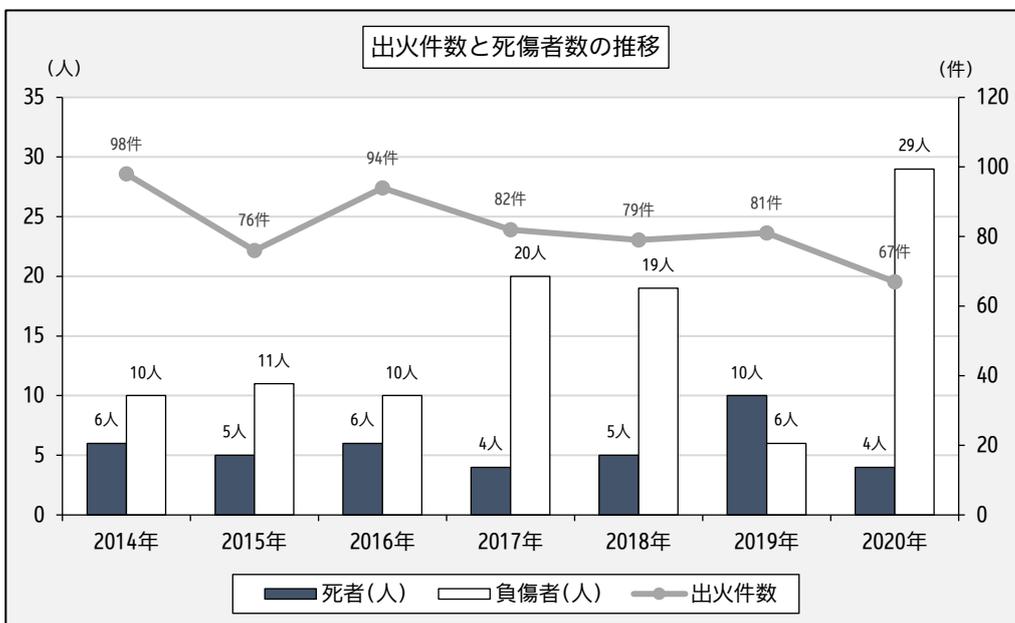
郡山市は、2016年まで全国及び県を下回っていたが、2017年には上回っており、それ以降減少傾向にあったが、2020年に大幅に増加している。  
 ※2020年7月30日発生の郡山市島2丁目地内における大規模な建物火災（爆発）のため。



総務省消防庁「消防白書」、福島県消防保安課「消防防災年報」、  
 郡山地方広域消防組合「救急搬送データ（国表）」より

### (2) 出火件数と死傷者数の推移（郡山市）

出火件数は、2016年以降減少傾向にある。  
 負傷者は2020年に増加している。

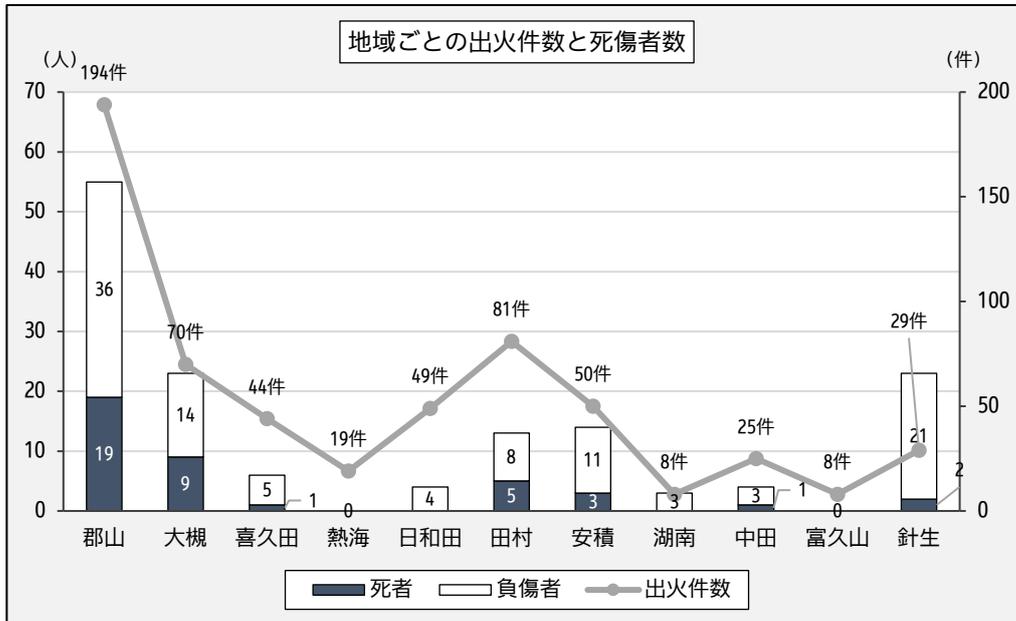


郡山地方広域消防組合「消防年報こおりやま」より

## 分野6 防災・環境安全

### (3) 地域ごとの出火件数と死傷者数（郡山市）（2014～2020年累計）

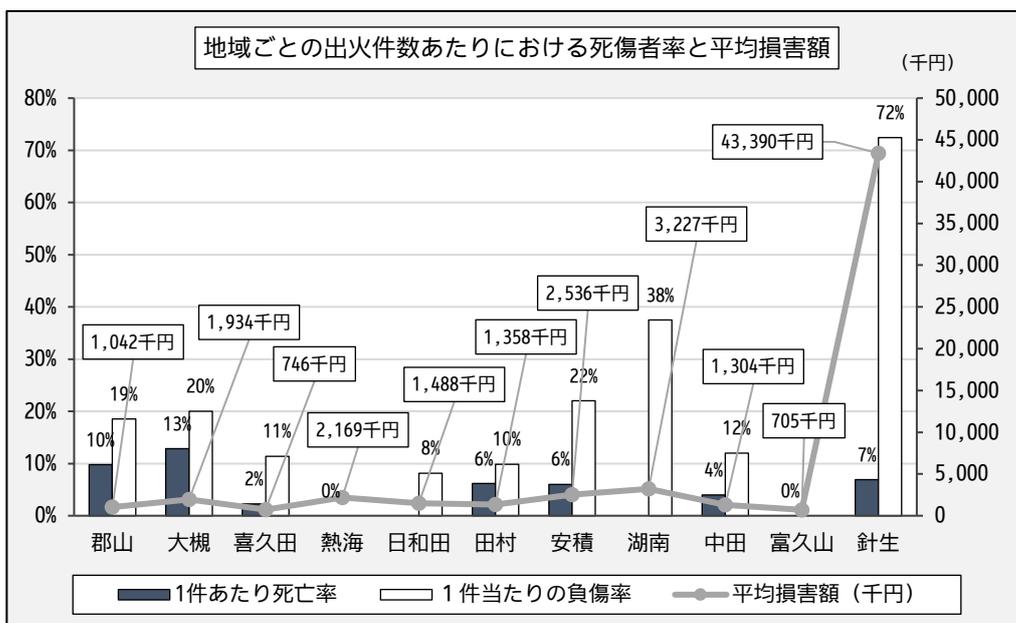
出火件数では、「郡山」が194件で一番多く、次いで「田村」が81件、「大槻」が70件となっている。死傷者数では、「郡山」が55人で一番多く、次いで「針生」「大槻」が23人となっている。



郡山地方広域消防組合「消防年報こおりやま」より

(参考)

地域ごとの出火件数あたりにおける死傷者率と平均損害額（郡山市）  
（2014～2020年累計）



郡山地方広域消防組合「消防年報こおりやま」より

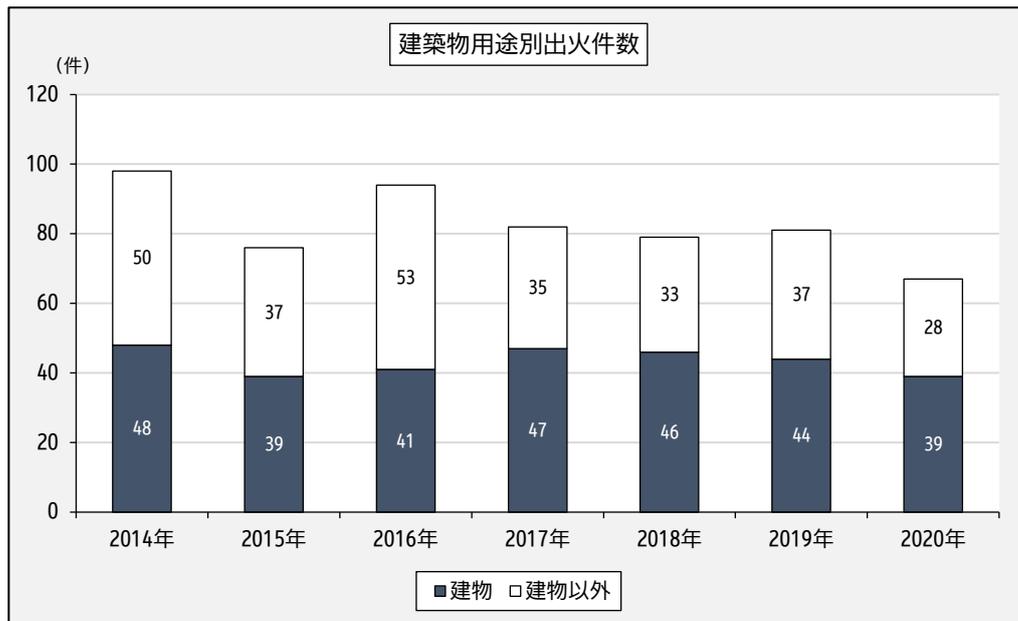
※富久山分署は2019年11月から業務開始

※針生救急所…郡山市島2丁目地内における大規模な建物火災（爆発）発生のため  
1件当たりの負傷率及び平均損害額が大きくなっている。

## 分野6 防災・環境安全

### (4) 出火発生場所（郡山市）

2017年以降は、「建物」の割合が多い傾向にある。



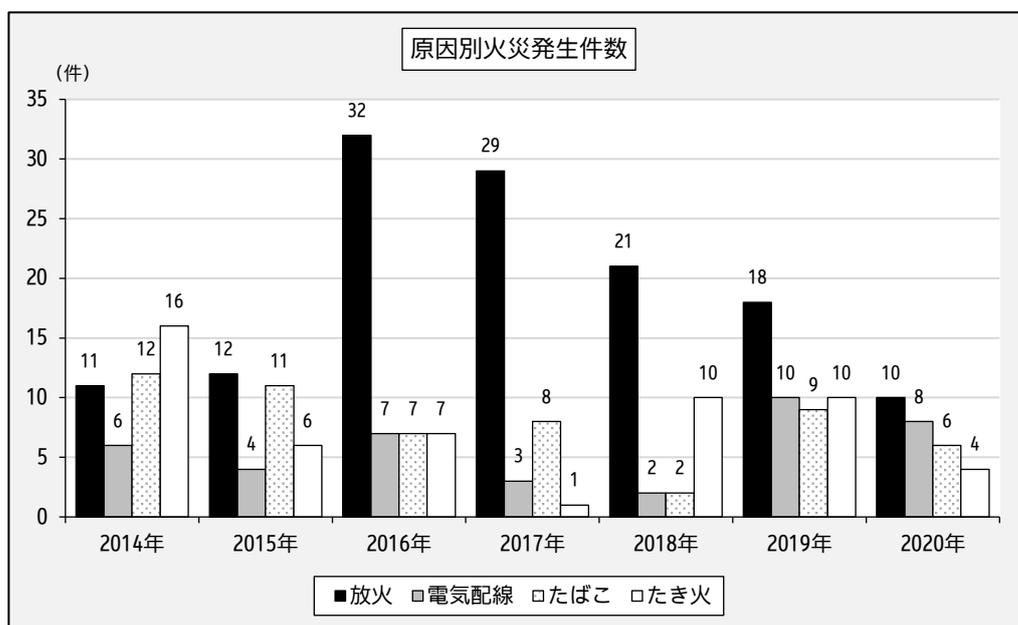
郡山地方広域消防組合「消防年報こおりやま」より

### (5) 火災発生原因（郡山市）

（2020年においてその他及び不明を除く火災原因のうち多い4項目での比較）

2020年では、「放火」が10件で一番多く、次いで「電気配線」が8件、「たばこ」が6件となっている。

※「放火」には「放火の疑い」も含む。「電気配線」は「電灯・電話等の配線及び配線器具」を合算した値。

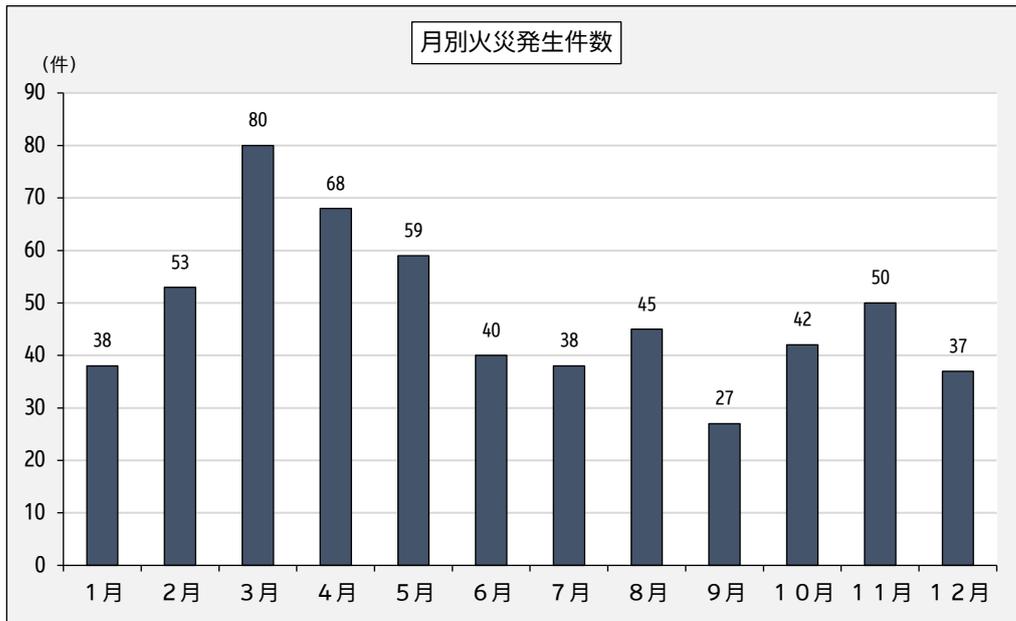


郡山地方広域消防組合「消防年報こおりやま」より

## 分野6 防災・環境安全

### (6) 月別火災発生件数（郡山市）（2014～2020年累計）

月別では「3月」が80件で一番多く、次いで「4月」が68件、「5月」が59件と春に火災が多い。



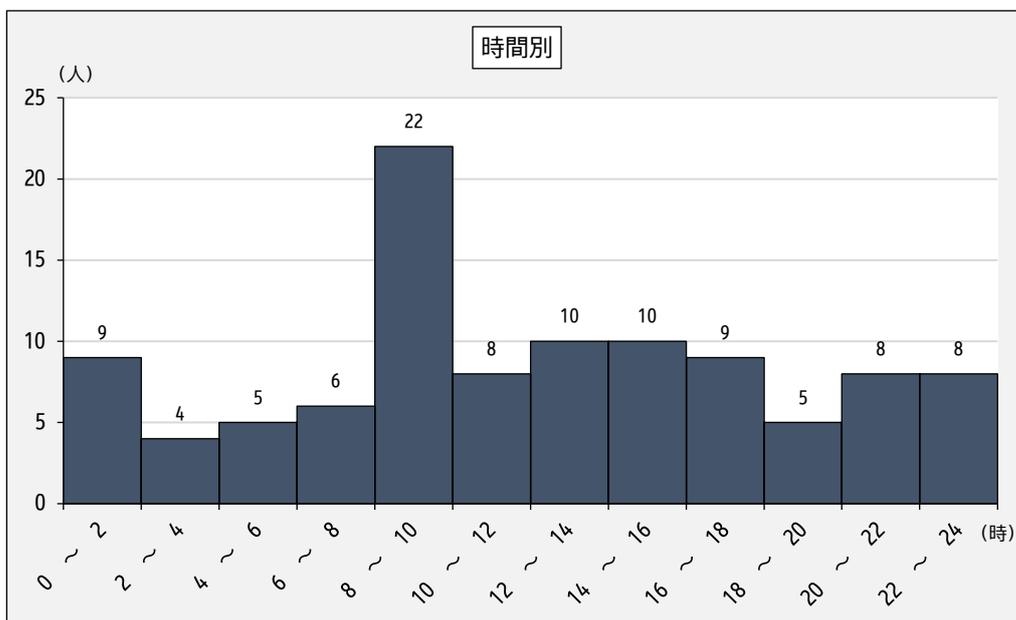
郡山地方広域消防組合「消防年報こおりやま」より

### (7) 火災を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数（郡山市）（2014～2021年累計）

※2020年7月30日（木）8時57分頃に郡山市島2丁目地内において大規模な建物火災（爆発）が発生したため、該当する時間・曜日・月の件数が多くなっている。

#### ア 時間別

時間別では、「8～10時台」が22件で一番多い。

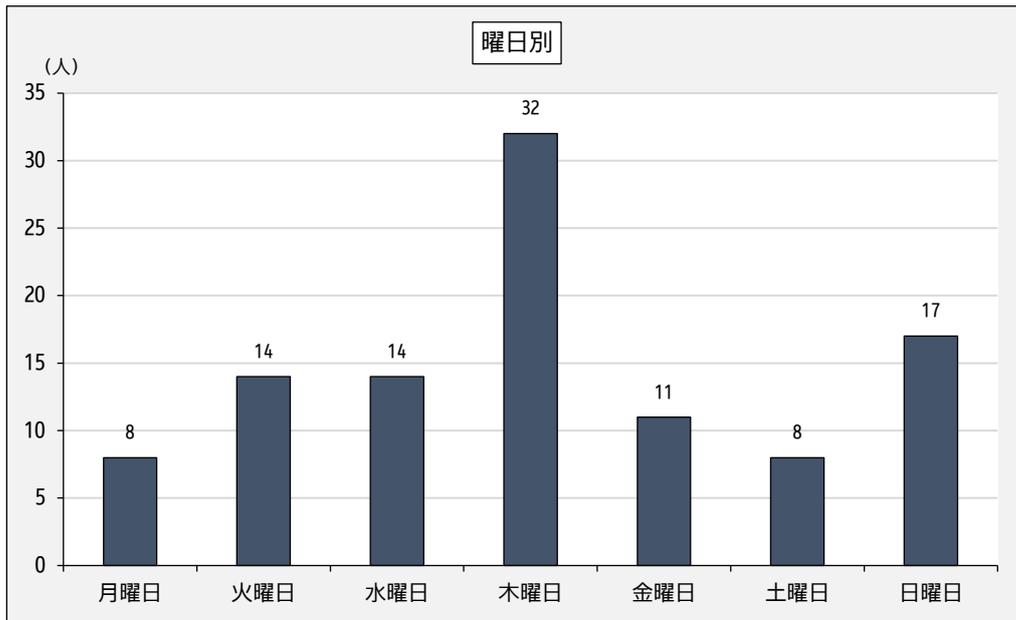


郡山地方広域消防組合「救急搬送データ（国表）」より

## 分野6 防災・環境安全

### イ 曜日別

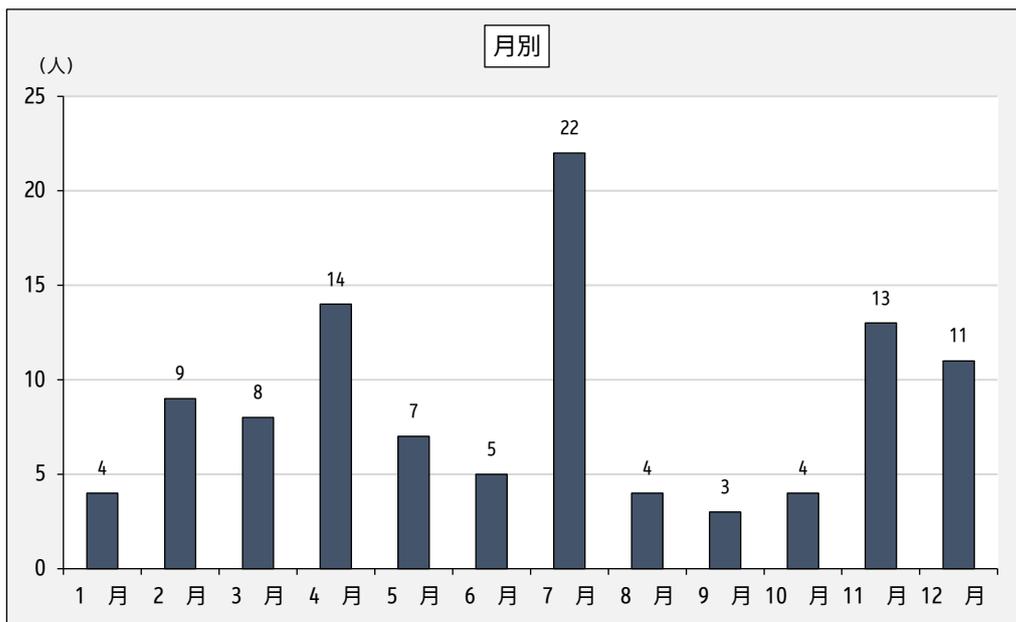
曜日別では、「木曜日」が32件で一番多く、次いで「日曜日」が17件となっている。



郡山地方広域消防組合「救急搬送データ（国表）」より

### ウ 月別

月別では、「7月」が22人で一番多く、次いで「4月」が14人、「11月」が13人となっている。

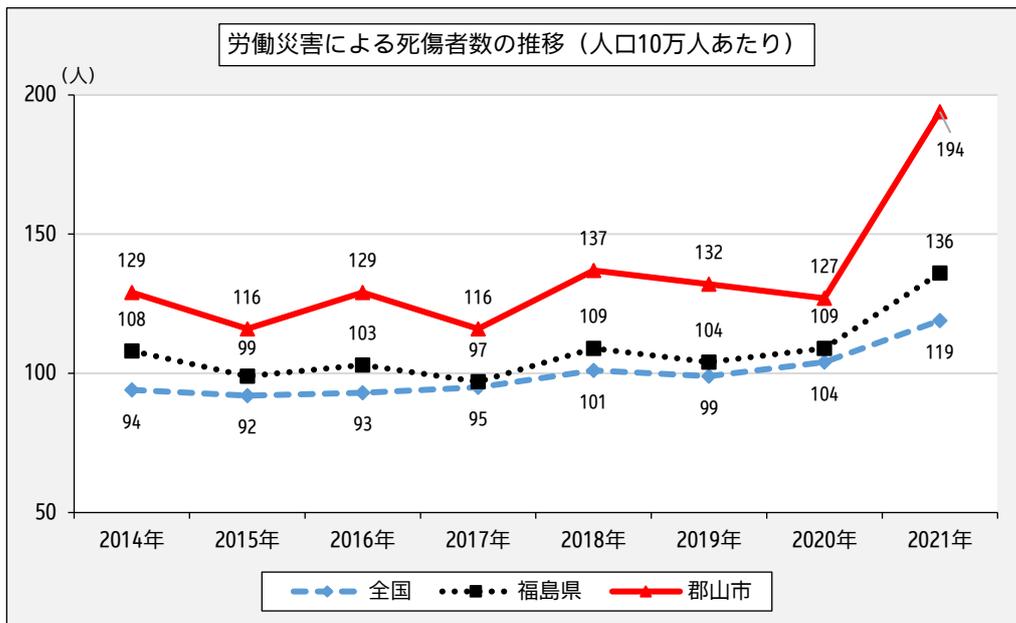


郡山地方広域消防組合「救急搬送データ（国表）」より

## 分野6 防災・環境安全

### (8) 労働災害による死傷者数推移（人口10万人あたり）

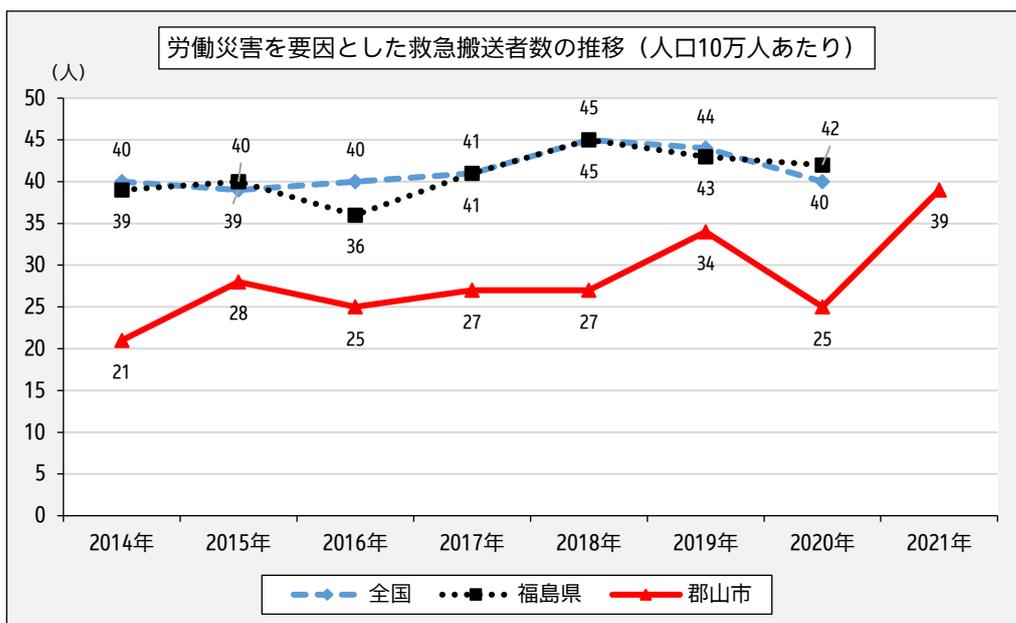
郡山市は、各年で全国及び県を上回っている。2021年は大幅に増加した。  
※職場での新型コロナウイルス感染関連も含まれる。



厚生労働省労働基準局・福島労働局・郡山労働基準監督署「労働災害発生状況」より

### (9) 労働災害を要因とした救急搬送者数推移（人口10万人あたり）

郡山市は、各年で全国及び県を下回っている。2021年は増加した。



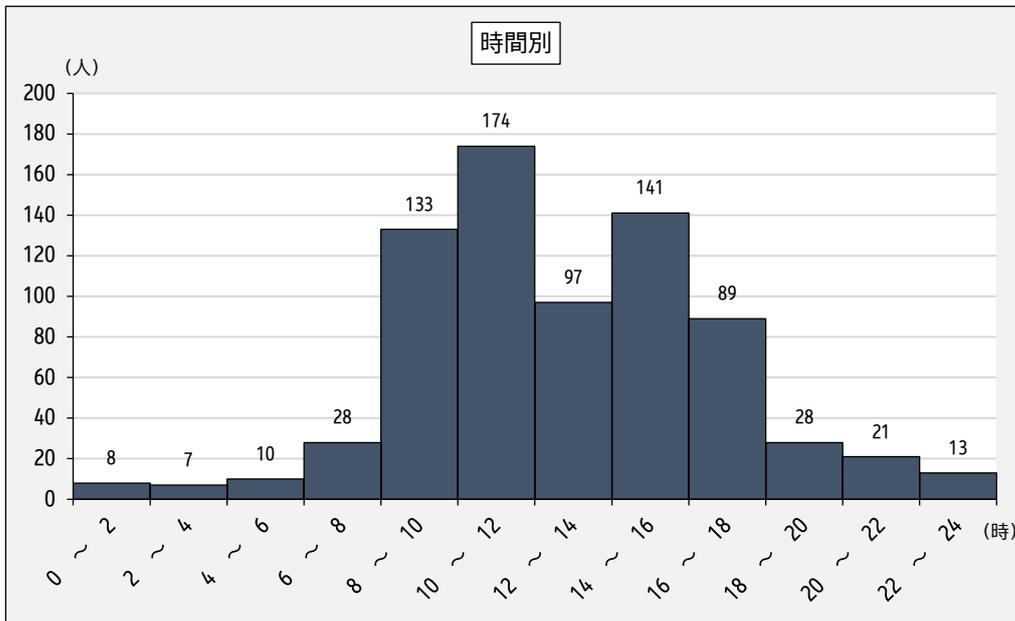
総務省消防庁「消防白書」、福島県消防保安課「消防防災年報」、  
郡山地方広域消防組合「救急搬送データ（国表）」より

## 分野6 防災・環境安全

### (10) 労働災害を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数（郡山市）（2014～2021年累計）

#### ア 時間別

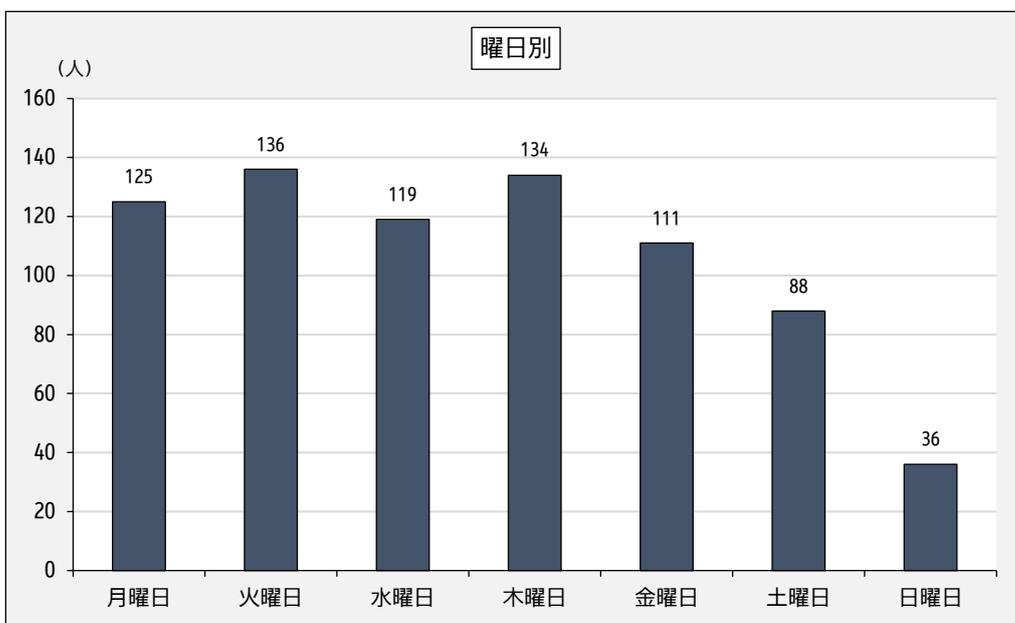
「10～12時台」が174人で一番多く、次いで「14～16時台」が141人、「8～10時台」が133人となっている。



郡山地方広域消防組合「救急搬送データ（国表）」より

#### イ 曜日別

「火曜日」が136人で一番多く、次いで「木曜日」が134人、「月曜日」が125人となっている。

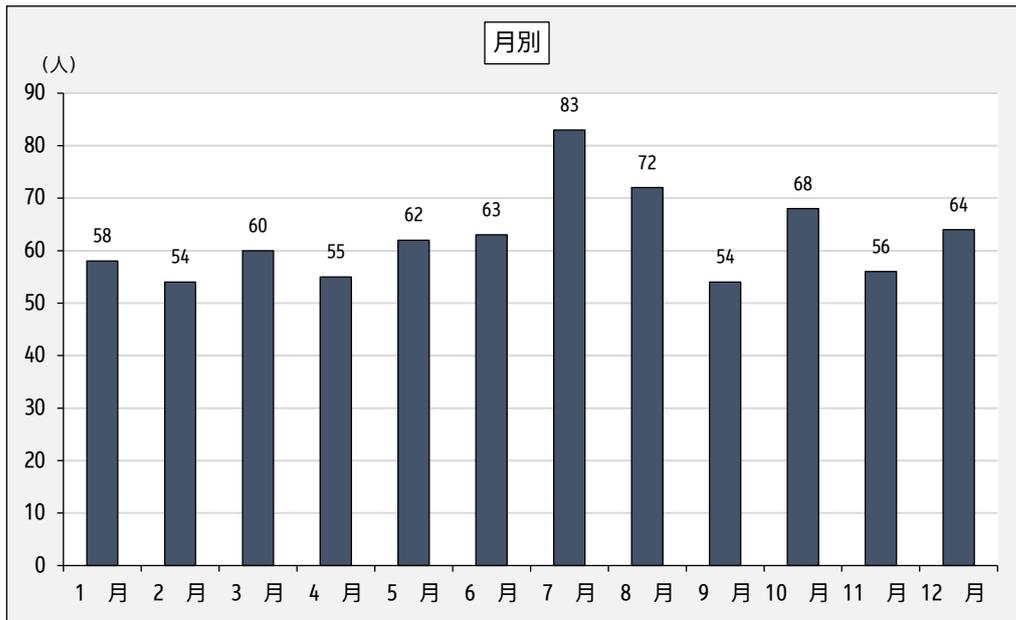


郡山地方広域消防組合「救急搬送データ（国表）」より

## 分野6 防災・環境安全

### ウ 月別

「7月」が83人で一番多く、次いで「8月」が72人、「10月」が68人となっている。



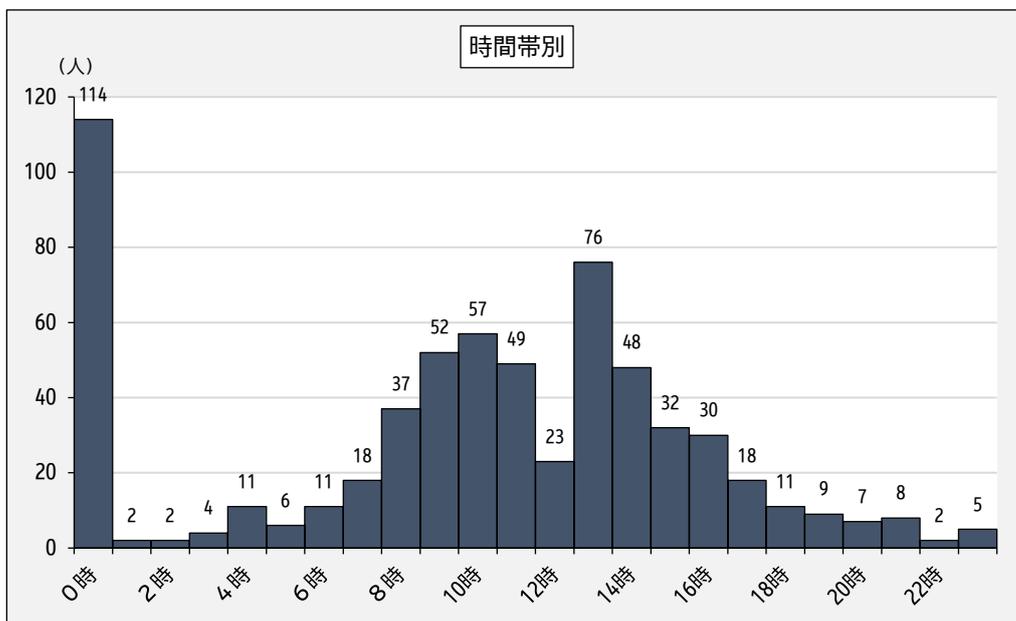
郡山地方広域消防組合「救急搬送データ(国表)」より

### (11) 労働災害による時間帯・曜日・月別死傷者数(郡山市)(2021年)

#### ア 時間帯別

「0時台」が114人で一番多く、次いで「13時台」が76人、「10時台」が57人となっている。

※時刻が不明なものは「0時台」に含まれる。(新型コロナウイルス関連)

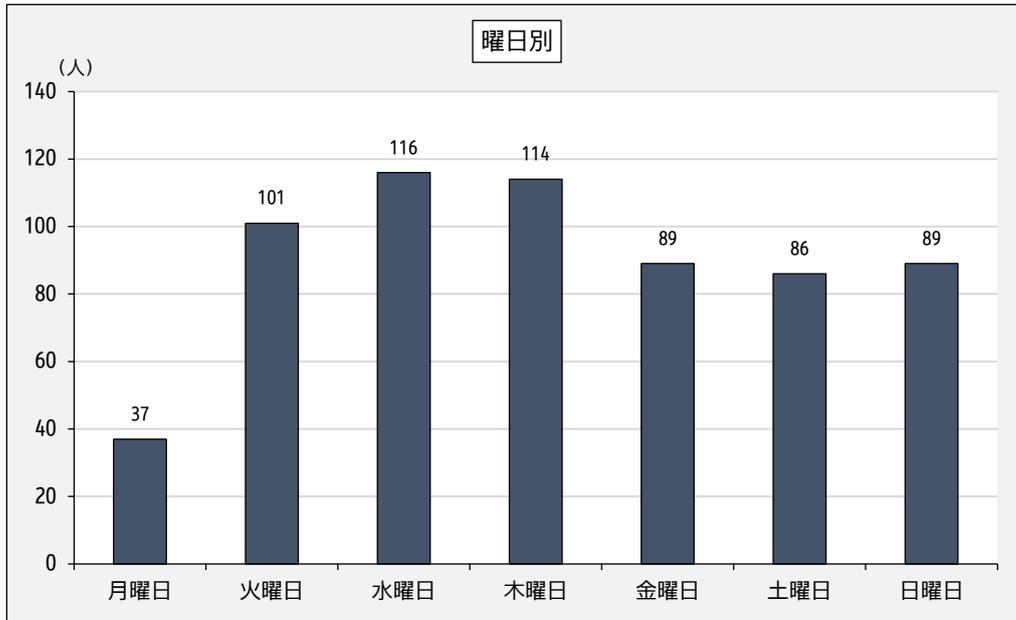


郡山労働基準監督署「労働災害発生状況」より

## 分野6 防災・環境安全

### イ 曜日別

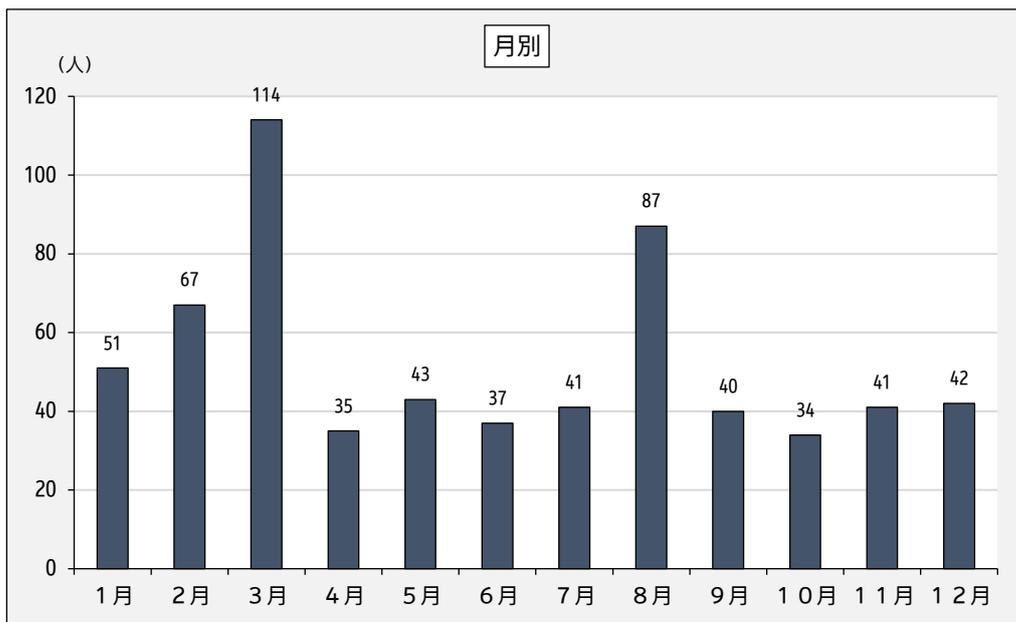
「水曜日」が116人で一番多く、次いで「木曜日」が114人、「火曜日」が101人となっている。



郡山労働基準監督署「労働災害発生状況」より

### ウ 月別

「3月」が114人と一番多く、次いで「8月」が87人、「2月」が67人となっている。

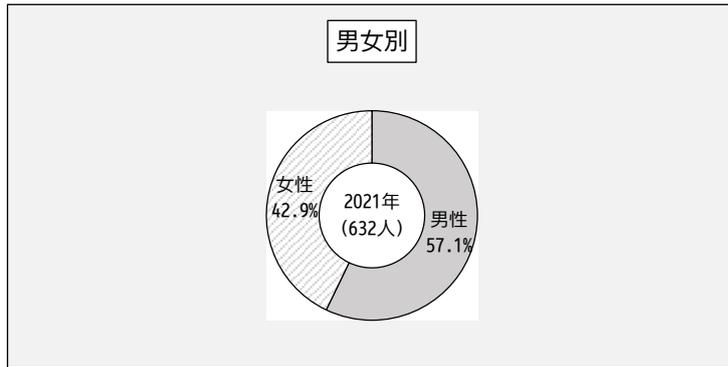


郡山労働基準監督署「労働災害発生状況」より

## 分野6 防災・環境安全

### (12) 男女別労働災害による死傷者数（郡山市）（2021年）

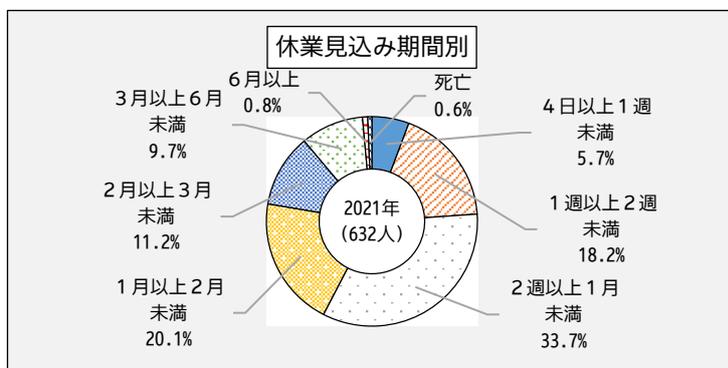
男性が57.1%、女性が42.9%となっている。



郡山労働基準監督署「労働災害発生状況」より

### (13) 休業見込み期間別労働災害による死傷者数（郡山市）（2021年）

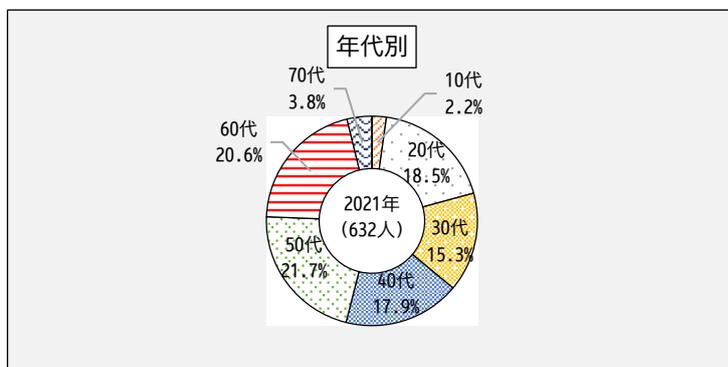
「2週間以上1月未満」が33.7%で一番多く、次いで「1月以上2月未満」が20.1%、「1週以上2週未満」が18.2%となっている。



郡山労働基準監督署「労働災害発生状況」より

### (14) 年代別労働災害による死傷者数（郡山市）（2021年）

「50代」が21.7%と一番多く、次いで「60代」が20.6%、「20代」が18.5%となっている。

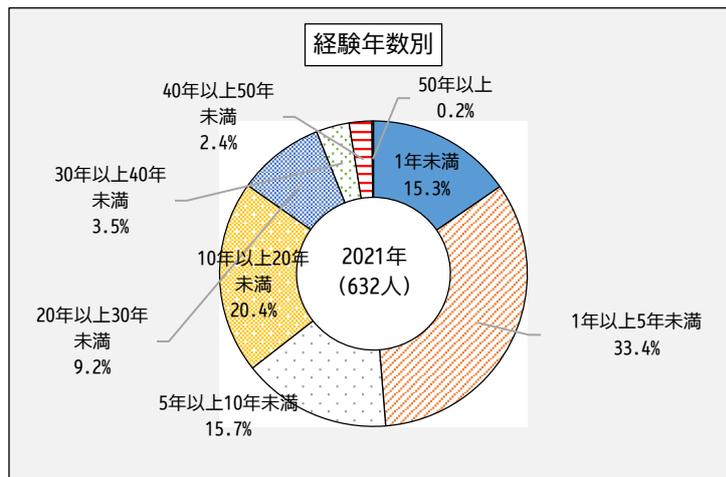


郡山労働基準監督署「労働災害発生状況」より

## 分野6 防災・環境安全

### (15) 経験年数別労働災害による死傷者数（郡山市）（2021年）

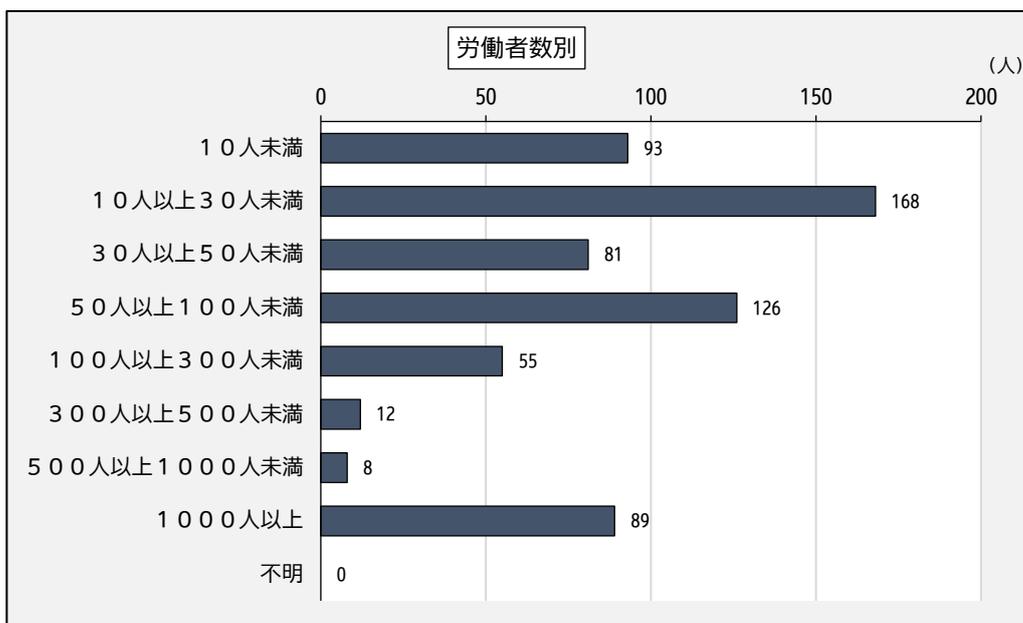
「1年以上5年未満」が33.4%と一番多く、次いで「10年以上20年未満」が20.4%、「5年以上10年未満」が15.7%となっている。



郡山労働基準監督署「労働災害発生状況」より

### (16) 労働者数別労働災害による死傷者数（郡山市）（2021年）

「10人以上30人未満」が168人で一番多く、次いで「50人以上100人未満」が126人、「10人未満」が93人となっている。

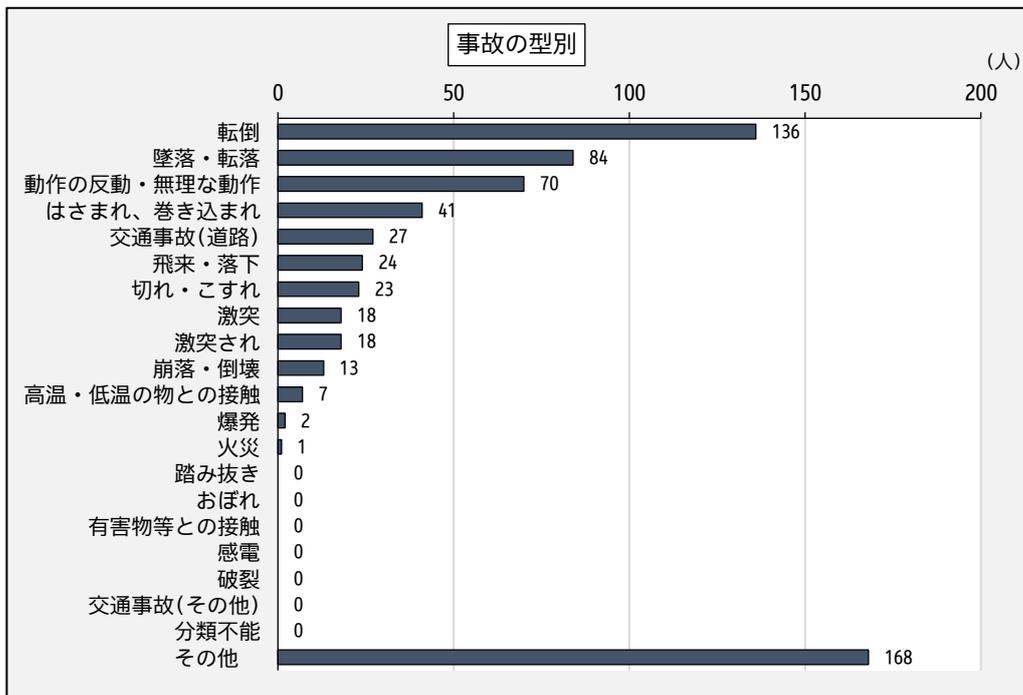


郡山労働基準監督署「労働災害発生状況」より

## 分野6 防災・環境安全

### (17) 事故の型別労働災害による死傷者数（郡山市）（2021年）

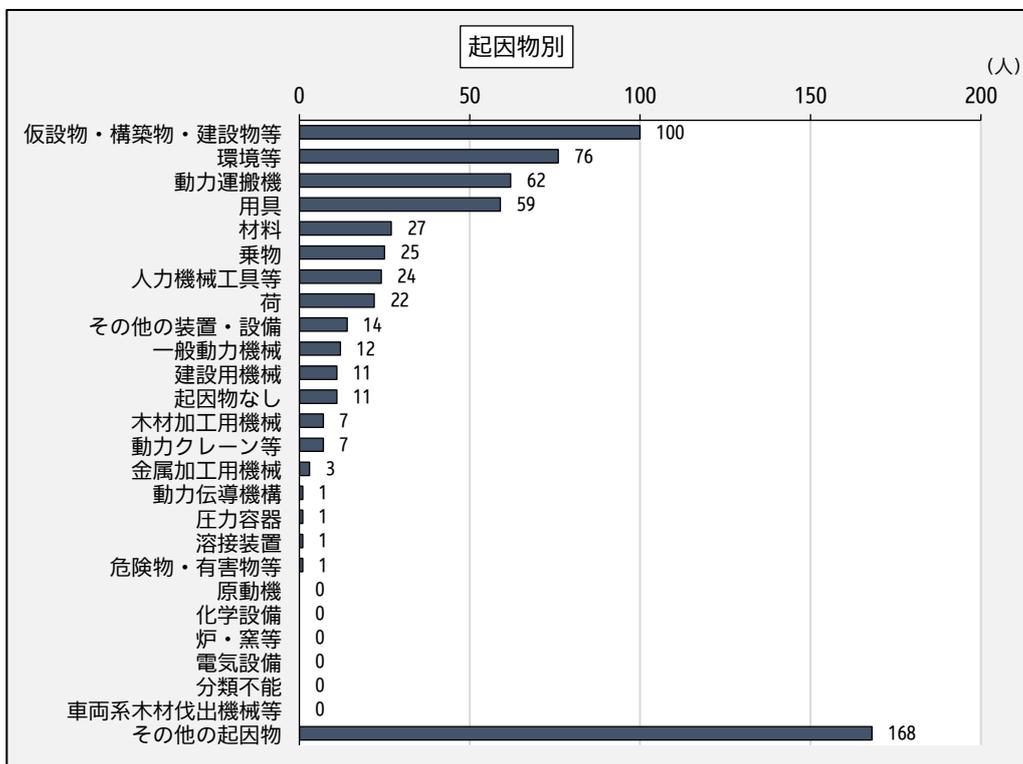
「その他」が168人で一番多く、次いで「転倒」が136人、「墜落・転落」が84人となっている。 ※新型コロナウイルス関連は「その他」に含まれる。



郡山労働基準監督署「労働災害発生状況」より

### (18) 起因物別労働災害による死傷者数（郡山市）（2021年）

「その他の起因物」が168人で一番多く、次いで「仮設物・構築物・建設物等」が100人、「環境等」が76人となっている。 ※新型コロナウイルス関連は「その他の起因物」に含まれる。

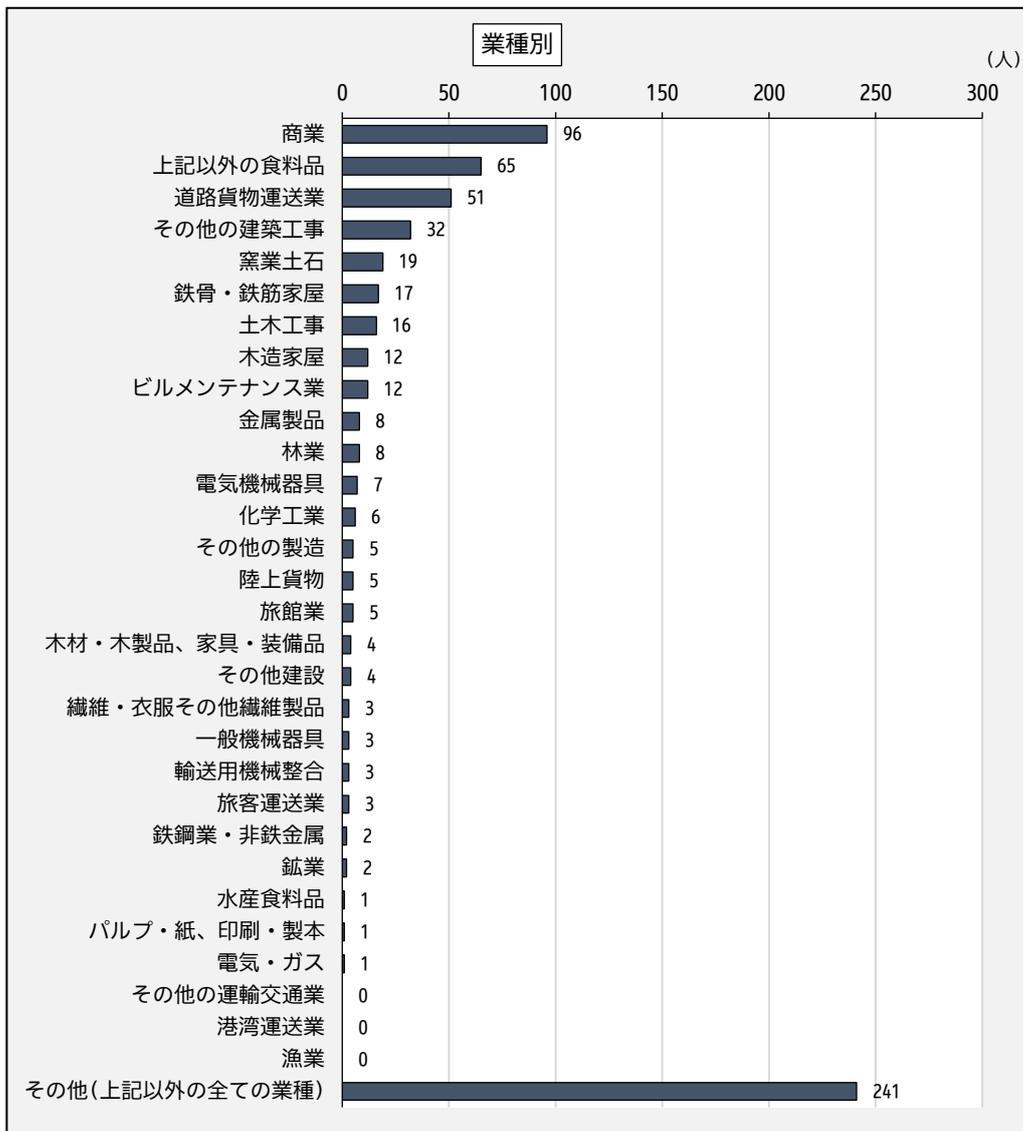


郡山労働基準監督署「労働災害発生状況」より

## 分野6 防災・環境安全

### (19) 業種別労働災害発生状況（郡山市）（2021年）

「その他」が241人で一番多く、次いで「商業」が96人、「上記以外の食料品」が65人となっている。



郡山労働基準監督署「労働災害発生状況」より